



取扱説明書

目次

注意事項

基本操作

文字入力

電話

電話帳

メール

インターネット

カメラ

便利な機能

端末設定

付録

GRATINA

グラティーナ

KYOCERA CONFIDENTIAL

GRATINAを使ってみよう！

■ 初期設定

▶ P.63

お買い上げ時にau IDの設定ができます。au IDはauのサービスをご利用いただくお客さまを識別するためのIDです。お客さまのau電話番号をau IDとして登録します。au IDを設定するとau スマートパス／My au／au PAY などau提供のさまざまなサービスがご利用になれます。



■ +メッセージの初期設定

▶ P.107

これまでのSMS(Cメール)が、楽しく便利なメッセージアプリになりました。
+メッセージ同士なら、au以外の携帯電話やスマートフォンをお使いの方へも、気にせずメッセージや写真、動画を送受信できます。



■ Eメールアドレスを取得する

▶ P.99

auメール(@au.com/@ezweb.ne.jp)のアドレスを利用して、メールの送受信ができます。
利用するには、Eメールアドレスの初期設定を行い、有効にします。

初期設定時に決まったEメールアドレスは変更できません。

※ご利用には、LTE NETへのお申し込みが必要です。



■ データを移行する方法

▶ P.123

これまでお使いのau電話から、お客様の大切なデータ(電話帳・画像・動画など)を本製品に移行することができます。また、auのサーバーに預けたり、microSDメモ리카ードに保存したりすることもできます。

- SDカード
- データお預かり
- Bluetooth®
- データスイッチ



ごあいさつ

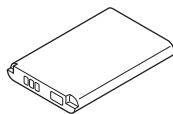
このたびは、「GRATINA(グラティナー)」(以下、「本製品」もしくは「本体」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に『取扱説明書』(本書)をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



本体



電池パック
(KYF44UAA)

• 取扱説明書(本書)

以下のものは同梱されていません。

- ・卓上ホルダ(KYF39PUA)
- ・microSDメモ리카ード
- ・ACアダプタ
- ・イヤホン
- ・USB Type-C™ケーブル
- ・京セラ3.5ΦType-C変換ケーブル(O4O1QNA)



memo

- ◎指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。
- ◎本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

取扱説明書について

■『取扱説明書』(本書)

主な機能の主な操作のみ説明しています。

■『取扱説明書 詳細版』

さまざまな機能のより詳しい説明を記載した『取扱説明書 詳細版』は、auホームページでご確認できます。

<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>



■GRATINA使い方ガイド

次の操作で、本製品の詳しい使い方を画像で確認できます。

待受画面で→[本製品の使い方ガイド]

■For Those Requiring an English Instruction Manual

英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the "Basic Manual" from the au website (available from approximately one month after the product is released).

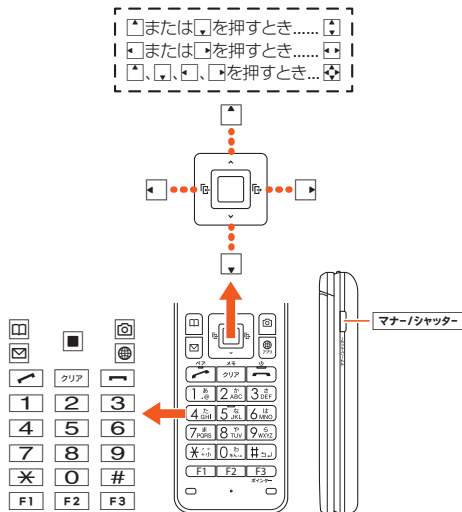
『取扱説明書(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。

Download URL: <https://www.au.com/english/support/manual/>

本書の表記方法について

■ 掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化しています。



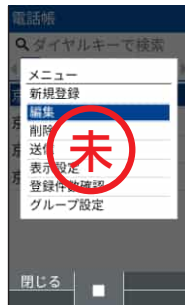
■ 項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書では、やでメニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどを選択して (OK／選択／設定／決定／確定)を押すまでの操作を、[名称]と省略して表記しています。

例: 電話帳の連絡先を編集する場合

1 待受画面で→ (メニュー)→[編集]

「編集」をで選択して、で決定する操作を表しています。



memo

◎キー操作について詳しくは、「基本的なキー操作を覚えよう」(▶P.80)をご参照ください。

■掲載されているイラスト・画面表示について

本書はau Nano IC Card 04 LEを取り付けた状態の画面表示・操作方法となります。

本書に記載されているイラストや画面は、実際のイラストや画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。

実際の画面

本書の表記例



memo

◎本書では、キーや画面、アイコンは本体カラー「ホワイト」のお買い上げ時の表示を例に説明していますが、実際のキーや画面、アイコンとは字体や形状が異なっていたり、一部を省略している場合があります。あらかじめご了承ください。

◎画面最下行に表示された内容を■/田/回/回/回/回を押して実行する場合、回(メニュー)のように括弧内に内容を表記します。

※ただし、■(OK)/■(選択)/■(設定)/■(決定)/■(確定)の場合は省略して■のみ表記しています。

◎本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

◎本書では「microSD™メモリカード(市販品)」 「microSDHC™メモリカード(市販品)」の名称を「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。

◎本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。

目次

ごあいさつ	2
同梱品一覧	2
取扱説明書について	3
本書の表記方法について	4

目次	6
----------	---

注意事項	10
------------	----

注意事項	10
本製品のご利用について	10
安全上のご注意(必ずお守りください)	12
材質一覧	24
取り扱い上のご注意	25
防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意	31
ご使用にあたっての注意事項	32
お手入れのしかた	34
充電のときは	35
水に濡れたときの水抜きについて	36
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能について ...	38
2.4GHz帯で用上の注意	38
各種暗証番号／PINコードについて	40
各種暗証番号について	40

PINコードについて	40
データ通信料についてのご注意	41
通話料についてのご注意	41
アプリケーションについて	41
マナーも携帯する	42

基本操作	43
------------	----

基本操作	43
各部の名称と機能	43
充電ランプ／通知ランプについて	46
ストラップの取り付けかたについて	47
電池パックを取り付ける／取り外す	48
電池パックを取り付ける	48
電池パックを取り外す	50
SIMカードについて	50
SIMカードが挿入されていない場合	51
SIMカードを取り付ける／取り外す	51
SIMカードを取り付ける	51
SIMカードを取り外す	53
microSDメモ리카ードを取り付ける／取り外す ..	55
microSDメモ리카ードを取り付ける	55
microSDメモ리카ードを取り外す	57
充電する	58
ACアダプタを使って充電する	59
卓上ホルダと指定のACアダプタを使って充電する	60

電源を入れる／切る.....	61
電源を入れる	61
電源を切る	61
強制的に電源を切り再起動する.....	62
Device Controlについて	62
初期設定をする.....	63
ポインターを利用する	65
ポインターの操作について	65
待受画面を利用する.....	67
ウィジェットや通知表示を利用する.....	67
待受画面のウィジェットを編集する.....	68
本製品の状態を知る.....	68
アイコンの見かた.....	68
通知パネルについて	69
マナーモードを設定する	71
機内モードを設定する	72
自分の電話番号を確認する	72
プロフィールを確認する	72
プロフィールを編集する	72
サブディスプレイを利用する	73
メインメニューを利用する	74
アプリ・サービスを利用する	77
メインメニューを変更する	78
カスタムメニューを利用する	78
カスタムメニューにアプリを登録する.....	78
カスタムメニューを利用してアプリを呼び出す....	78

アプリを並べ替える	79
アプリを削除する.....	79
カスタマイズキーを利用する	79
共通の操作を覚える	80
基本的なキー操作を覚えよう	80
チェックボックスを利用する	81
本製品を閉じたときにマナー／シャッターキーの 操作を無効にする(キーロック).....	81

文字入力82

文字入力.....	82
文字入力の方法を覚える	82
待受画面ですぐに文字を入力する.....	85

電話86

電話.....	86
電話をかける	86
電話番号を入力して電話をかける.....	86
履歴を利用して電話をかける	89
スピードダイヤルを利用する	90
au電話から海外へかける (au国際電話サービス) ..	91
電話を受ける	92
電話に出る	92
着信を拒否する.....	93
ステップアップ着信を設定する.....	93

不在着信のスヌーズを設定する.....	93
伝言メモを利用する.....	94
伝言メモを設定する.....	94
伝言メモを再生する.....	94

電話帳 95

電話帳.....	95
電話帳に登録する.....	95
電話帳の一覧を利用する.....	96
電話帳一覧画面を表示する.....	96
時短検索(電話帳検索)を利用する.....	96
電話帳の登録内容を利用する.....	97
よく通話する相手をペア機能に登録する.....	98
ペア機能を利用する.....	98

メール 99

メールについて.....	99
Eメール.....	99
初期設定をする.....	99
Eメールを確認する.....	100
Eメールを送信する.....	103
宛先を追加・削除する.....	104
Eメールを受信する.....	105
新着メールを問い合わせして受信する.....	106
Eメールアドレスを確認する.....	106

Eメールアドレスを変更する.....	106
+メッセージ(SMS).....	107
初期設定をする.....	107
+メッセージのモードについて.....	108
+メッセージのご利用方法を確認する.....	109
連絡先に登録する.....	109
QRコードによる連絡先登録.....	109
新しい連絡先を登録.....	110
メッセージを送信する.....	110
受信したメッセージを確認する.....	111
PCメール.....	111
PCメールのアカウントを設定する.....	111
メールを送信する.....	112
メールを受信する.....	112
PCメールを返信／転送する.....	112

インターネット 113

インターネット接続.....	113
インターネットに接続する.....	113
データ通信を利用する.....	113
ブラウザ.....	114
Webページを表示する.....	114
ポインターで操作する.....	115

カメラ	116
カメラ	116
撮影画面の見かた	117
フォトを撮影／ムービーを録画する	118
便利な機能	119
アラーム	119
アラーム一覧画面のメニューを利用する	120
天気予報アラームを利用する	120
ラジオ	120
FMラジオを利用する	120
漢字チェック	122
スクリーンショット	122
バッテリーケアモード	122
データ移行	123
microSDメモリカードを利用する	123
「データお預かり」アプリを利用する	123
Bluetooth®機能を利用する	124
「データスイッチ」アプリを利用する	124
端末設定	125
端末設定	125
設定メニューを表示する	125

無線LAN(Wi-Fi®)機能	126
無線LAN(Wi-Fi®)機能について	126
無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する	127
無線LAN(Wi-Fi®)機能をONにする	127
Wi-Fi®ネットワークに接続する	127
アクセスポイントとの接続を切る	127

付録

付録	128
ソフトウェアを更新する	128
ソフトウェアをダウンロードして更新する	128
故障とお考えになる前に	129
位置検索サポート	131
アフターサービス	132
SIMロック解除	134
周辺機器	134
イヤホンを使用する	135
主な仕様	136
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	138
FCC Notice	139
輸出管理規制	140
知的財産権について	140
商標について	140
License	143

注意事項

本製品のご利用について

注意事項

- 本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。
- 故障とお考えになる前に、本書の「故障とお考えになる前に」で症状をご確認ください。
または、以下のauホームページの「トラブル診断」で症状をご確認ください。
<https://www.au.com/trouble-check/>
- サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください（ただし、LTE／UMTS／GSM方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております）。
- 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE（LTEネットワーク）を利用します。3G（回線交換ネットワーク）を利用した接続はできません。
- 本製品はau世界サービスに対応しておりますが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。

- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があります、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客さまが利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本書の記載内容を守らないことにより、生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の計測センサーやGPSにより得られる測位などの情報は、あくまで目安となり、高度な信頼性を必要とする目的でのご利用はできません。測位の誤差による損害および逸失利益に関して、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

- ・本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- ・本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- ・撮影などした写真／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- ・通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品(オプション品含む)の回収にご協力ください。auショップ／au Styleなどで本製品の回収をおこなっております。
- ・本製品のアプリや機能を使用する際、利用規約などの確認画面が表示された場合は、画面に従って操作してください。
- ・アプリや機能を起動する際、通信料についての確認画面が表示された場合は、画面に従って操作してください。

※本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。

発売元: KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)

製造元: 京セラ株式会社



- ◎ 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- ◎ 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- ◎ OSの仕様変更やサービスの変更・終了等により一部機能がご利用いただけなくなる場合があります。
- ◎ 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※ ¹ を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※ ¹ を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷※ ² を負う可能性が想定される場合および物的損害※ ³ の発生が想定される」内容です。

- ※1 重傷:失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ※2 軽傷:治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
- ※3 物的損害:家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■禁止・強制の絵表示の説明

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。		濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 本体、電池パック、背面カバー、充電用機器、SIMカード、周辺機器共通

⚠ 危険

-  高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

-  電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

-  砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水・防塵性能については以下をご参照ください。

▶P.31「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」

-  水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

▶P.31「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」

-  本製品に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。

電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ご注意ください例

- ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
- 電車やバスなどの座席シートに挟み込む

-  分解、改造をしないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

▶P.31「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」



外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

▶P.31「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」



オプション品は、auが指定したものを使用してください。

指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告



落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



お手入れの際は、消毒液や水分が隙間、外部接続端子、マイク、スピーカー部に入らないようにしてください。

本製品の破損により、けが、感電などの原因となります。



所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。



ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。

ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。

また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下等に注意し、特に給油中は使用しないでください。

可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。



使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントから抜く。
 - 本製品の電源を切る。
 - 電池パックを本製品から取り外す。
- 上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 注意



破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。



湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
▶P.31「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」



子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



本製品を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。

アプリ、通話、データ通信、動画視聴など、継続しての使用や充電中は、本製品や電池パック・指定の充電用機器（別売）の温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客さまの体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

■ 本体について

⚠ 危険



火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



本製品内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

本製品内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠ 警告



点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。

けいれんや意識喪失などの原因となります。



本製品内のSIMカードスロットやmicroSDメモリーカードスロットに水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。また、SIMカードやmicroSDメモリーカードの挿入場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。

レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。

電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。

また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。

電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本製品を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本製品に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

ハンズフリーに設定して通話すると、本製品から大きな音が出ます。

待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。

大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。

また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。

突然の着信バイブレータ(振動)や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本製品の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本製品の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



ペットなどが本製品に噛みつかないようにご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 注意



ストラップなどを持って本製品を振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。



ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



背面カバーを取り外す際は、必要以上に力を入れないでください。

背面カバーが破損し、けがなどの原因となります。



背面カバーを取り付けるときは、指などの体の一部を挟まないでください。

けがなどの原因となります。



背面カバーを外したまま使用しないでください。

やけど、けが、感電などの原因となります。



自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客さまの体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質について▶P.24「材質一覧」



本製品を開閉する際は、指などの体の一部を挟まないようご注意ください。

すき間に挟まれると、けがなどの原因となります。



本製品のスピーカー部(外装ケース側を含む)、カメラキー付近に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

■ 電池パックについて

⚠ 危険



金属片(ネックレスやヘアピンなど)や導電性異物などと接続端子が触れないようにしてください。また、それらのものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



電池パックを本製品にうまく取り付けできない場合は、無理に取り付けしないでください。また、電池パックを本製品からうまく取り外せない場合は、無理に取り外さないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
電池パックの取り付け方、取り外し方については以下をご参照ください。
▶P.48「電池パックを取り付ける」
▶P.50「電池パックを取り外す」



火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



電池パックを本製品に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめてください。

誤った向きで取り付けると、電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

電池パックの取り付け方については以下をご参照ください。

▶P.48「電池パックを取り付ける」



電池パック内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

電池パック内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠ 警告



異臭、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は、使用しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



電池パック内部の物質などが漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



ペットなどが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 注意



電池パック内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

 一般のゴミと一緒に捨てないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからauショップ／au Styleなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

 濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

■ 充電用機器について

警告

 指定の充電用機器(別売)のコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

 雷が鳴り出したら、指定の充電用機器(別売)には触れないでください。
感電などの原因となります。

 コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部に触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

 指定の充電用機器(別売)のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

 コンセントに指定の充電用機器(別売)を抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

 指定の充電用機器(別売)に変圧器(海外旅行用のトラベルコンバーターなど)を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。

 本製品に指定の充電用機器(別売)を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 濡れた手で指定の充電用機器(別売)のコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能な指定の充電用機器(別売)で充電してください。

誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプタ: AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

海外で使用可能なACアダプタ: AC100V~240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)



電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の充電用機器(別売)をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグをコンセントから抜く場合は、指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。

指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



本製品に指定の充電用機器(別売)を抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

注意

-  コンセントにつないだ状態で指定の充電用機器(別売)に継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。

■ SIMカードについて

注意

-  SIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があります、けがなどの原因となります。

■ 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

警告

-  植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
-
-  自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

■GRATINA KYF44本体

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース(ディスプレイケース、キーケース)	PC+GF樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース(ヒンジカバー)、背面カバー、マナー/シャッターキー	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース(ディスプレイリアプレート)、ウィンドウパネル部(サブ)、通知(充電)ランプ窓部	PMMA樹脂(インモールド)	アクリル系UV硬化箔
電話帳キー、カメラキー、ブラウザキー、メールキー、カーソルキー、センターキー、発信/ペアキー、クリア/メモキー、電源/終話キー、ダイヤルキー、カスタマイズキー、クッション(ダイヤルキー下部)	UV硬化性樹脂	—

使用箇所	使用材質	表面処理
キーシート	PET樹脂	UV硬化性樹脂
ウィンドウパネル部 (メイン)、カメラブ レート	PMMA+PC 樹脂	ハードコート 処理

■電池パック(KYF44UAA)

使用箇所	使用材質	表面処理
外装	PC樹脂	—
シール	PET(基材) +PP(表面)	—
端子	銅	金メッキ処理 (下地Niメッ キ)

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお取り扱いいただきたい事項です。

よくお読みになって、正しくご使用ください。

■本体、電池パック、背面カバー、充電用機器、SIMカード、周辺機器共通

●本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。また、外部接続器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。

●本製品の防水性能(IPX5、IPX8相当)を発揮するために、背面カバーをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。

ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を浸入させたり、電池パックや指定の充電用機器(別売)、オプション品に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴がついたままでの背面カバーの取り付け/取り外しは行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。

調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。

- 下記については、極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。ただし、36℃～40℃であれば一時的な使用は可能です。)
 ・本製品本体
 ・電池パック・SIMカード(本製品本体装着状態)
- 下記については、極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
 ・充電用機器
 ・周辺機器
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 外部接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて外部接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またシンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障したりする原因となります。

- 本製品はアルコール除菌シート・アルコールを少量含ませた布(布が湿る程度)で拭き取りをすることができます。耐薬品機能のチェックのため、一般的なアルコール除菌シートに使用される下記の薬品を布に含ませ、拭き取り試験を実施しています。
 (1) イソプロピルアルコール、(2) エタノール、
 (3) 次亜塩素酸ナトリウム
 アルコール除菌シートでの拭き取りを想定した試験において、著しい変色・退色のないことを確認しています。ただし、製品の有する性能は試験環境下での確認であり、すべての変色や変形しないことを保証するものではありません。
 ※ お手入れのしかたについて詳しくは「お手入れのしかた(▶P.34)」をご参照ください。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 電池パックは電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。

- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。故障の原因となります。
- お客さまによる分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。
- 外部接続端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、それらの異物が内部に入ったりしないようにしてください。故障の原因となります。
- 充電中に濡れた場合には直ちに指定の充電用機器(別売)の電源プラグを抜いてください。
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- かばんの中や布団などで覆われた状態での使用や充電は故障の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。

- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中やバイブレーション設定中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。
- 本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。

■本体について

- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- キーやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。

本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「技術マーク㊦」が本製品本体内で確認できるようになっております。

待受画面で $\blacksquare$ →[設定]→[その他の設定]→[端末情報]→[技術基準適合証明]

本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけないでください。記録内容が消失する場合があります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります（結露といいます）。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDメモリーカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電池パックを取り外したり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 背面カバーを外したまま使用しないでください。また、放置・保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。（▶P.33「背面カバーの取り付けかた」）

- 本製品内のSIMカードスロットやmicroSDメモリーカードスロットに液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。
- 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口／スピーカー部、送話口（マイク）などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入したりすると故障の原因となります。
- 通話中、送話口（マイク）を指などで覆わないようにご注意ください。相手にこちらの声が聞こえにくくなります。

■電池パックについて



Li-ion00

（本製品の電池パックは、リチウムイオン電池です。）

電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

- 夏期、閉めきった（自動車）車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では電池パックの容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。

- 長時間使用しない場合は、本体から電池パックを外し、高温多湿を避けて保管してください。
- 電池パックは消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。
- 電池パックは、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。
- 破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。故障原因となる場合があります。
- 電池パックを水などで濡らさないでください。電池パックが濡れると故障の原因となります。誤って水などに落としたときは、直ちに電源を切り、電池パックを外して、auショップ／au Styleもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。また、濡れた電池パックは充電をしないでください。

■充電用機器について

- 指定の充電用機器(別売)の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。また、指定の充電用機器(別売)のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。指定の充電用機器(別売)のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

■SIMカードについて

- SIMカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、SIMカードを挿入して故障した場合は、お客さまの責任となりますのでご注意ください。
- SIMカードにシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたSIMカードを挿入しないでください。故障の原因になります。
- カードに損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかけたりする、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■カメラ機能について

- 大切な撮影などをするときには、事前に試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

■著作権・肖像権について

- お客さまが本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、私的使用目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影したフォトなどをインターネット・ホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化したりする場合があります。

■FCC認証情報

- 本製品は、Federal Communications Commission (FCC) の認証を受けています。本製品のFCC IDはJOYEB1135です。
また、以下の方法でも確認できます。

確認方法:

待受画面で  → [設定] → [その他の設定] → [端末情報] → [技術基準適合証明]

防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意

本製品は背面カバーが完全に装着された状態で保護等級(JIS C 0920)のIPX5相当※¹、IPX8相当※²の防水性能およびIP5X相当※³の防塵性能を有しております(当社試験方法による)。

また、MIL規格準拠※⁴の耐衝撃性能を実現しております(当社試験方法による)。

正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての注意事項」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

※¹ IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。

※² IPX8相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの水槽に静かに本製品を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本体内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。

※³ IP5X相当とは、直径75 μ m以下の塵埃(じんあい)が入った装置に電話機を8時間入れて攪拌(かくはん)させ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全に維持することを意味します。(塵埃(じんあい)の侵入を完全に防止するわけではありません。)

※⁴ MIL規格準拠

米国国防総省が制定したMIL-STD-810H Method 516.8-Shock-Procedure IVに準拠した規格において、高さ1.22mから銅板に本製品を26方向で落下させる試験を実施しています。

※日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落としかたをしたりするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。また、本体の性能に異常がなくても落下衝撃にて傷などが発生します。

すべての状況での動作を保証するものではありません。お客さまの取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

ご使用にあたっての注意事項

- 背面カバーは完全に装着した状態にしてください。完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。
- 手や本製品が濡れている状態での背面カバーの開閉は絶対にしないでください。
- 水道水以外の液体(アルコール、海水、プールの水、温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水、ジュース、アルコール飲料、調味料など)に浸けたり、かけたりしないでください。また、ペットの尿がかかる場所での使用はしないでください。
かかった場合には、速やかに水道水で洗い流してください。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口／スピーカー部、送話口(マイク)などに砂などが入り音が小さくなったり、ヒンジ部などから本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。
- 水中で使用しないでください。
- お風呂、台所など、湿気の多い場所での長時間の使用、保管はしないでください。
- 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
- 受話口／スピーカー部、送話口(マイク)などに水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。
- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。

- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。
- 急激な温度変化は、結露が発生し、故障の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
- 本製品は水に浮きません。

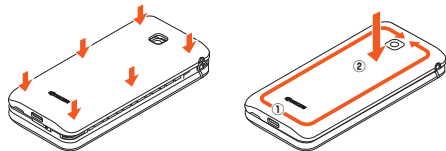
■背面カバーについて

- 背面カバーは完全に装着した状態にしてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- 背面カバーを取り外し、取り付けの際は手袋などをしてそのまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。カバーを閉じる際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
- 背面カバーに劣化・破損があるときは、防水性能を維持できません。

背面カバーの取り付けかた

本体を閉じた状態で背面カバーと本体を合わせるように置き、背面カバーを取り付けます。

取り付け後、背面カバーの外周を①の方向になぞり、②の方向にしっかり押さえ、完全に装着させます。



■水以外が付着した場合

●万一、水以外(海水・洗剤・アルコール飲料など)が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。

●本製品はアルコール除菌シート・アルコールを少量含ませた布(布が湿る程度)で拭き取りをすることができます。耐薬品機能のチェックのため、一般的なアルコール除菌シートに使用される下記の薬品を布に含ませ、拭き取り試験を実施しています。

- (1)イソプロピルアルコール、(2)エタノール、
(3)次亜塩素酸ナトリウム

アルコール除菌シートでの拭き取りを想定した試験において、著しい変色・退色のないことを確認しています。ただし、製品の有する性能は試験環境下での確認であり、すべての変色や変形しないことを保証するものではありません。

※お手入れのしかたについて詳しくは「お手入れのしかた(▶P.34)」をご参照ください。

●やや弱めの水流(6リットル/分以下)で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温(5℃~35℃)の水道水で洗えます。

●汚れた場合、ブラシなどは使用せず、背面カバーが開かないように押さえながら手で洗ってください。

■水に濡れた後は

●水濡れ後は水抜きをし、背面カバーを外さないで、本体、背面カバーとも乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。

●寒冷地では本製品に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。

■ゴムパッキンについて

●背面カバーを開けたときの本体側のゴムパッキンは、防水性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、はがしたりしないでください。

●背面カバーを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないようにご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。

●水以外の液体(アルコールなど)が付着した場合は耐久性を維持できなくなる場合があります。

- 背面カバーの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。本製品が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付くおそれがあり、浸水の原因となります。
- 防水性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。部品の交換については、お近くのauショップ／au Styleまでご連絡ください。

■耐熱性について

- 熱湯に浸けたり、熱湯をかけたりしないでください。また、サウナでの使用やドライヤーなどで熱風を当てないでください。本製品は耐熱設計ではありません。

■衝撃について

- 本製品は耐衝撃性能を有しておりますが、日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。

お手入れのしかた

本製品の汚れは下記の手順で泡ハンドソープやアルコールなどで拭きとることができます。

■泡ハンドソープ／泡ボディソープを使用する場合

1 ケーブル類をすべて取り外して、本製品の電源を切ります。

電源の切りかたについて詳しくは「電源を切る」(▶P.61)をご参照ください。

2 柔らかい布に泡ハンドソープ／泡ボディソープを付けて本製品を手早く拭き取ります。

受話口／スピーカー部、送話口(マイク)などの穴部に泡ハンドソープなどが入り込まないように注意してください。

3 泡が完全になくなるまですすぎます。

受話口／スピーカー部、送話口(マイク)などの穴部を約30秒洗い流します。

4 受話口／スピーカー部、送話口(マイク)などの穴部の水抜きを十分にしてください。

水抜きについて詳しくは「水に濡れたときの水抜きについて」(▶P.36)をご参照ください。

5 十分に乾燥させて、水滴が残っていないことを確認してください。

乾燥について詳しくは「水に濡れたときの水抜きについて」(▶P.36)をご参照ください。

■ アルコールを使用する場合

1 ケーブル類をすべて取り外して、本製品の電源を切ります。

電源の切りかたについて詳しくは「電源を切る」(▶P.61)をご参照ください。

2 糸くずの出ない柔らかい布にイソプロピルアルコール、エタノール、次亜塩素酸ナトリウムを少量含ませ、本製品を拭き取ります。

※ アルコール除菌シートでの拭き取りを想定した試験において、著しい変色・退色のないことを確認しています。ただし、製品の有する性能は試験環境下での確認であり、すべての変色や変形しないことを保証するものではありません。

※ 製品の有する性能は試験環境下での確認であり、無故障を保証するものではありません。

※ イソプロピルアルコール、エタノール、次亜塩素酸ナトリウムは消毒用として販売されているものを、それぞれの取扱説明書をよく読んでお使いください。誤った使いかたは人体への影響や引火などのおそれがあります。

■ 注意事項

- ・市販のアクセサリ商品(ストラップなど)は取り外してください。なお、市販のアクセサリ商品の取り扱いについては、各商品の注意事項をご確認ください。
- ・耐水圧設計ではありませんので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- ・卓上ホルダ(KYF39PUA)(別売)は防水性能を有していませんので、泡ハンドソープやアルコールなどでの拭き取りは行わないでください。

・お手入れの際は背面カバーがしっかり閉じていることを確認してください。

※ 国内メーカー製の泡タイプのハンドソープ／ボディソープをご使用ください。種類の異なる泡ハンドソープ／泡ボディソープは混ぜないでください。

キッチン用・業務用・無添加・アルカリ性のハンドソープ、業務用・無添加・アルカリ性のボディソープや、石けん、洗剤、入浴剤、シャンプー、リンス、洗顔料、メイク落とし、歯磨き粉などを使用しないでください。

付着した場合にはすぐに水で洗い流してください。

充電のときは

● 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

● 本製品が濡れている状態では絶対に充電しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

● 本製品が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、卓上ホルダ(KYF39PUA)(別売)に差し込んでください。

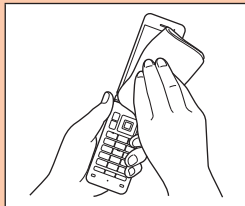
● 濡れた手で指定の充電用機器(別売)、卓上ホルダ(KYF39PUA)(別売)に触れないでください。感電の原因となります。

- 指定の充電用機器(別売)、卓上ホルダ(KYF39PUA)(別売)は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水回りでは使用しないでください。火災、やけど、感電、故障などの原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災、やけど、感電、故障などの原因となります。
- 外部接続端子に水滴や異物が入っていないか確認の上、ご使用ください。

水に濡れたときの水抜きについて

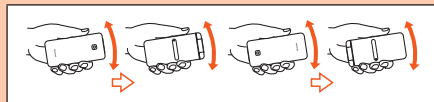
本製品を水に濡らした場合、必ず受話口／スピーカ一部、送話口(マイク)、外部接続端子部の水抜きをしてください。そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。
下記手順で水抜きを行ってください。

- 1 本製品表面の水分を繊維くずの出ない乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。



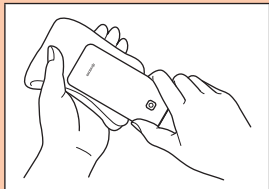
2 振りがたについて

- ①本製品をしっかり持ち、水が出なくなるまで本製品を矢印方向に振ります。
※ 振る際は周りに危険がないことを確認してください。
※ 本製品が飛び出さないように、しっかりと持ち水抜きをしてください。



- ②出てきた水分を拭き取ります。
※ 受話口／スピーカ一部、送話口(マイク)、外部接続端子部は特に水が抜けにくいので、押し付けるように各部分を下側にして拭き取ってください。
- ③乾いたタオルや布の上に置き、常温でしばらく放置します。

- 3** 繊維くずの出ない乾いた清潔な布などに本製品を軽く押し当て、受話口／スピーカー部・送話口(マイク)・ヒンジ部・外部接続端子部などの隙間に入った水分を拭き取ってください。



- 4** 本製品から出た水分を十分に取り除いてから常温で1時間以上放置して乾燥させてください。

上記手順を行った後でも、本製品に水分が残っている場合があります。濡れて困るもののそばには置かないでください。

また、衣服やかばんなどを濡らしてしまうおそれがありますのでご注意ください。

Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能について

- ・本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は日本国内規格、FCC規格に準拠し、認証を取得しています。
- ・一部の国／地域ではBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- ・無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- ・電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- ・テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- ・近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

- ・航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- ・通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

- ・本製品のBluetooth®機能／無線LAN(Wi-Fi®)機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。
 1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
 3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップ／au Styleもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。



memo

- ◎ 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客さまの判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- ◎ Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

-Bluetooth®機能:2.4FH1/XX1



本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式等を採用し、与干渉距離は約10m以下です。

移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

-無線LAN(Wi-Fi®)機能:2.4DS4/OF4



本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。

全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

- ・利用可能なチャンネルは、国により異なります。
- ・航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

各種暗証番号／PINコードについて

各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただけます。

ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

なお、初期値は必ずお客さまの独自の番号に変更の上お使いください。

■暗証番号

使用例	①お留守番サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ②お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客さまが記入した任意の4桁の番号

■画面ロック

使用例	画面ロックの設定／解除をする場合
初期値	なし

■機能ロックNo.

使用例	「電話帳ロック」／「Eメールロック」／「+メッセージロック」／「オールリセット」などを利用する場合
初期値	なし

PINコードについて

■PINコード

第三者によるSIMカードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力可否を設定する場合にも入力が必要となります。

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力可否は入力が不要な設定になっていますが、お客さまの必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力可否は入力が必要な設定に変更できます。
- 入力が必要な設定で使用する場合、必ずお客さま独自の番号に変更の上ご使用ください。

■PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、SIMカードが取り付けられていたプラスチックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ／au Style・トヨタ au取扱店もしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

- PINコードはデータの初期化を行ってもリセットされません。

＜この部分をコピーしてご使用ください＞

【パスワード記載欄】	
au ID	画面ロック:ロックNo.
au IDパスワード	画面ロック:パスワード

※アカウント(ID)やパスワードは、他人に知られることのないよう厳重に管理してください。

データ通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリなどにより自動的にデータ通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリなどの取得、アプリによる通信、メールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。

通話料についてのご注意

- 通話を終了される際は、通話終了の操作を行って確実に通話が切断されていることをご確認ください。通話の切り忘れにより、通話料が高額になる場合があります。

アプリケーションについて

- アプリの取得についてはau IDを設定の上、auスマートパスより行ってください。au IDの設定については「初期設定をする」(▶P.63)をご参照ください。本製品ではGoogle Play™やEZwebのご利用はできません。
- アプリの取得は安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。アプリによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客さまの位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客さまが取得したアプリなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客さまが取得したアプリなどにより、お客さまご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによっては、microSDメモ리카ードをセットしていないと利用できない場合があります。

- アプリの中には動作中にディスプレイが自動消灯しなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなったりするものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリや取得したアプリはアプリのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■ 周りの人への配慮も大切

- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まっただけの通話や操作は控えましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。

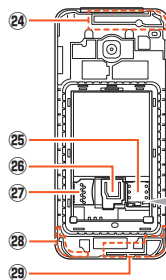
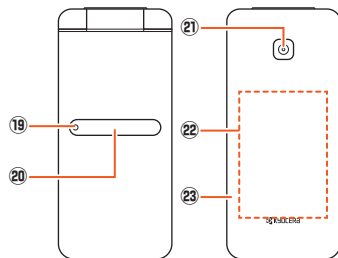
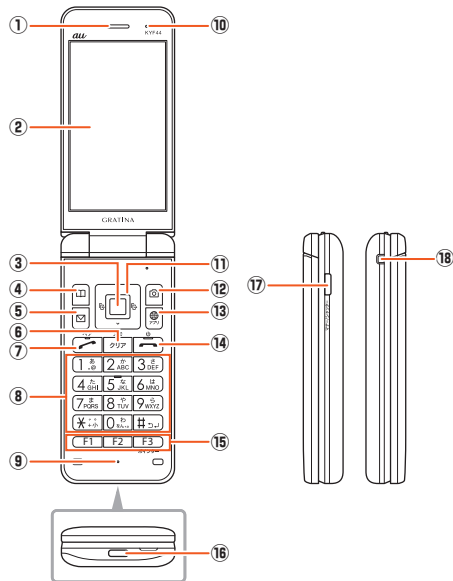
機内モードの設定方法：

待受画面で **[設定]** → **[無線・ネットワーク]** → **[機内モード]** にチェックを入れる

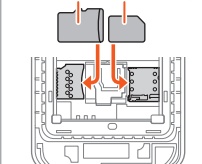
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

基本操作

各部の名称と機能



microSD
メモリカード SIM カード



SIMカードとmicroSDメモリカードの挿入場所や向きを間違えないでください。

① 受話口／スピーカー

通話中の相手の方の声、伝言メモの再生音、着信音、アラーム音などが聞こえます。

② ディスプレイ(メインディスプレイ)

③ センターキー

選択したメニューや項目などを決定します。
待受画面で押すとメインメニューが表示されます。待受画面で1秒以上長押しすると、本製品を閉じたときにマナー／シャッターキーの長押し操作を無効にできます(▶P.81)。

④ 電話帳キー

待受画面で押すと電話帳を起動します。待受画面で1秒以上長押しすると電話帳編集画面が表示されます。

⑤ メールキー

待受画面で押すとEメールを起動します。待受画面で1秒以上長押しすると+メッセージ(SMS)を起動します。

⑥ クリア／メモキー

操作中は1つ前の画面に戻ります。
待受画面で押すと伝言メモリスト画面が表示されます。待受画面で1秒以上長押しすると伝言メモ応答を設定／解除します。

⑦ 発信／ペアキー

待受画面で電話番号を入力せずにを押すと、ペア登録確認画面が表示され、ペア相手を登録するとペア機能を利用できます(▶P.98)。
また、待受画面で1秒以上長押しするとフェイク着信機能を利用できます。

⑧ 〇～、、 ダイヤルキー

電話番号や文字を入力します。

⑨ 送話口(マイク)

通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。使用中はマイクを指などで覆わないようにご注意ください。

⑩ エアイベント

本製品は防水／防塵仕様のため、本体の密閉度が高くなっています。そのため、エアイベント(空気抜き用の穴)を設けています。

- ・エアイベントは防水／防塵性能に影響を与えません。
- ・保護シートやシールでエアイベントをふさがないでください。

⑪ カーソルキー

カーソルなどを上下左右に移動したり、機能を起動したりできます。

- ◀左キー／着信履歴
- ▶右キー／発信履歴
- ▲上キー
- ▼下キー

⑫ ㊄カメラキー

待受画面で押すとカメラを起動します。待受画面で1秒以上長押しすると、データフォルダのフォルダ一覧画面が表示されます。

⑬ ㊄ブラウザキー

待受画面でブラウザメニューを表示します。
待受画面で1秒以上長押しするとアプリ・サービス画面が表示されます(▶P.77)。

⑭ ㊄電源／終話キー

操作中は通話や各機能を終了します。長押しすると電源を入れる、または電源を切ることができます。

⑮ [F1]～[F3] カスタマイズキー1～3

カスタマイズキーで割り当てたアプリを起動します。

また1秒以上長押しすると、それぞれのキーで以下の操作ができます。

[F1]を1秒以上長押し:アプリ履歴を表示

[F2]を1秒以上長押し:通知を表示

[F3]を1秒以上長押し:ポインターに対応した機能やアプリの起動中にポインターのON/OFF切り替え(▶P.65)

⑯ 外部接続端子

TypeC共通ACアダプタ02(別売)や卓上ホルダ(KYF39PUA)(別売)などの接続時に使用します。

⑰ マナー/シャッター マナー／シャッターキー

待受画面で押すとマナーメニューを呼び出します。待受画面または本製品を閉じた状態で1秒以上長押しすると、マナーモードを設定／解除します。

本製品を閉じた状態で押すと、サブディスプレイの点灯や表示の切り替えができます。
カメラ起動中に押すと、フォトを撮影／保存します。

⑱ ストラップ取付部

⑲ 充電ランプ／通知ランプ

充電中は赤色で点灯します。着信時、メール受信時には設定内容に従って点滅します。
詳しくは「充電ランプ／通知ランプについて」(▶P.46)をご参照ください。

⑳ サブディスプレイ

着信時、メール受信時、アラーム鳴動時などに情報を表示してお知らせします。

㉑ カメラ(レンズ部)

㉒ 電池パック

㉓ 背面カバー

- ②4 内蔵メインアンテナ部※1
- ②5 SIMカードスロット※2
- ②6 ストッパー
- ②7 microSDメモ리카ードスロット※2
- ②8 内蔵GPS/Wi-Fi®/Bluetooth®アンテナ部※1
- ②9 内蔵サブアンテナ部※1

※1 アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ部付近を手で覆うと通話／通信品質に影響を及ぼす場合があります。

※2 SIMカードとmicroSDメモ리카ードの取り付け／取り外し方法について詳しくは「SIMカードを取り付ける／取り外す」(▶P.51)および「microSDメモ리카ードを取り付ける／取り外す」(▶P.55)をご参照ください。

充電ランプ／通知ランプについて

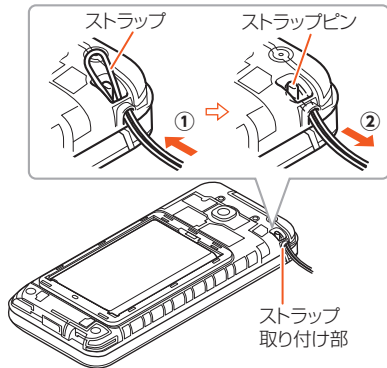
充電ランプ／通知ランプの点灯／点滅により、充電を促したり、充電中の充電状態、不在着信やメールの受信などをお知らせしたりします。

LEDの色と動作	通知内容
赤の点灯	充電中であることを示します。
青の点滅	着信時※、不在着信、通知メッセージ、新着＋メッセージ(SMS)があることを示します。
赤の点滅	充電異常を示します。
ピンクの点滅	音声レコーダーでの録音中であることを示します。

※ お買い上げ時の設定です。設定メニューの「サウンド・通知」(▶P.125)でLEDの設定を変更できます。

ストラップの取り付けかたについて

- 1 本体裏面の背面カバーを取り外す**
背面カバーの取り外しかたは「電池パックを取り付ける」(▶P.48)をご参照ください。
- 2 ストラップをストラップ取付部から通す**
- 3 ストラップをストラップピンへ確実に引っ掛けてから、外側へ引っ張る**



- 4 背面カバーを取り付ける**



◎ストラップがストラップピンに確実に引っ掛かっていることを確認してください。本体と背面カバーの間にストラップが挟まると、背面カバーが完全に閉まらなくなり、防水・防塵性能が損なわれます。また、ストラップが外れ、破損やけがの原因になります。

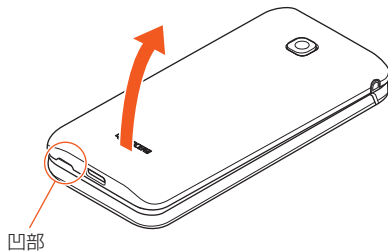
電池パックを取り付ける／取り外す

電池パックと背面カバーの取り付け／取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。
•本製品専用の電池パックをご利用ください。

電池パックを取り付ける

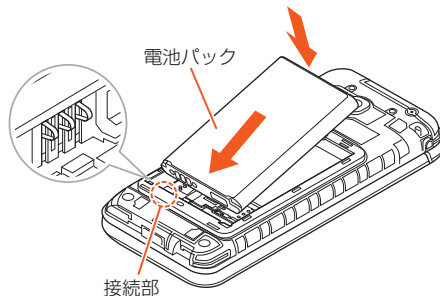
1 本体裏面の背面カバーを取り外す

背面カバーの凹部に指先(爪など)をかけて、矢印の方向に持ち上げて取り外します。



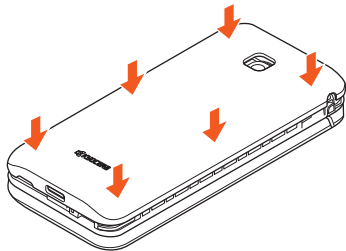
2 電池パックを取り付ける

接続部の位置を確かめて、電池パックをスライドさせて確実に押し込んでください。



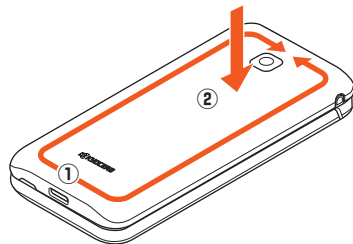
3 背面カバーを取り付ける

本体を閉じた状態で背面カバーと本体を合わせるように置き、背面カバーを取り付けます。



4 背面カバー全体に浮きがないようにしっかりと押さえる

背面カバーの外周を①の方向になぞり、②の方向にしっかりと押さえ、完全に装着させます。



memo

- ◎SIMカード、microSDメモ리카ードが確実に装着されていることを確認してから電池パックを取り付けてください。
- ◎防水性能を保つために、背面カバーが浮いていることのないように確実に閉じてください。
- ◎間違った取り付けかたをすると、電池パックおよび背面カバー破損の原因となります。

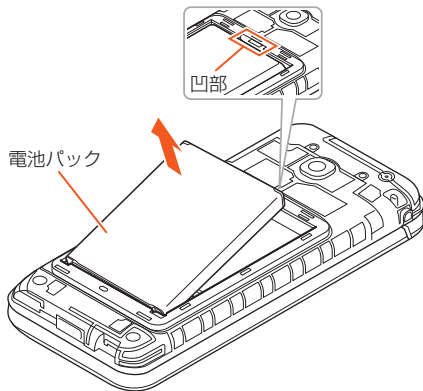
電池パックを取り外す

1 本体裏面の背面カバーを取り外す

(▶P.48「電池パックを取り付ける」)

2 電池パックを取り外す

本体の凹部から指先(爪など)を電池パックに引っ掛けて、矢印の方向に持ち上げて取り外してください。



3 背面カバーを取り付ける

(▶P.48「電池パックを取り付ける」)

SIMカードについて

SIMカードにはお客さまの電話番号などが記録されています。

本製品にはSIMロックはされておりません。

au Nano IC Card 04 LEの場合



memo

- ◎SIMカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
 - ・SIMカードのIC(金属)部分には触れないでください。
 - ・正しい挿入方向をご確認ください。
 - ・無理な取り付け、取り外しはしないでください。
- ◎SIMカードを正しく取り付けていない場合やSIMカードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
- ◎取り外したSIMカードはなくさないようにご注意ください。
- ◎変換アダプタを取り付けたSIMカードを挿入しないでください。故障の原因となります。

SIMカードが挿入されていない場合

SIMカードが挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。また、ステータスバーに「」が表示されます。

- ・電話をかける※／受ける
 - ・SMSの送受信
 - ・＋メッセージの送受信
 - ・Eメール(@au.com/@ezweb.ne.jp)の初期設定および送受信
 - ・SIMカードロック設定
 - ・本製品の電話番号およびメールアドレスの確認
- 上記以外でも、お客さまの電話番号などが必要な機能がご利用できない場合があります。

※ 110(警察)・119(消防機関)・118(海上保安本部)への緊急通報も発信できません。ただし、海外では緊急通報に限り発信可能な場合があります(なお、緊急通報番号は国によって異なります)。

PINコードによる制限設定

SIMカードをお使いになる上で、お客さまの貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やSIMカードのロックにより他人の使用を制限できます(▶P.40「PINコードについて」)。

SIMカードを取り付ける／取り外す

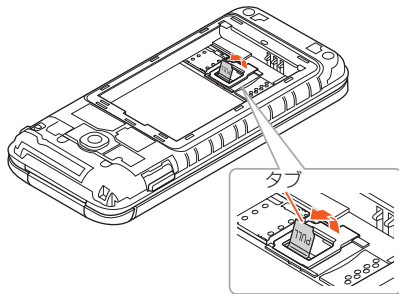
SIMカードの取り付け／取り外しは、本製品の電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください。

SIMカードを取り付ける

1 本製品の電源を切り、電池パックを取り外す

(▶P.50「電池パックを取り外す」)

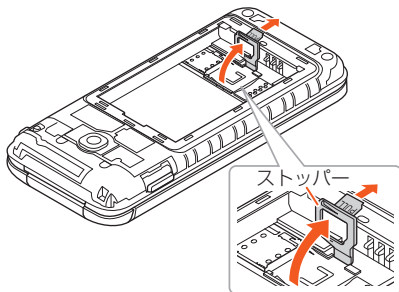
2 タブを矢印の方向に持ち上げる



3 タブを引っ張り、ストッパーを矢印の方

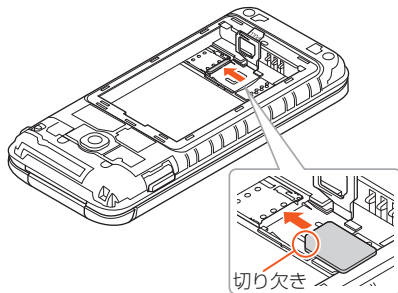
向に持ち上げる

ストッパーを持ち上げる際に、強い力をかけないようにご注意ください。ストッパーが破損するおそれがあります。



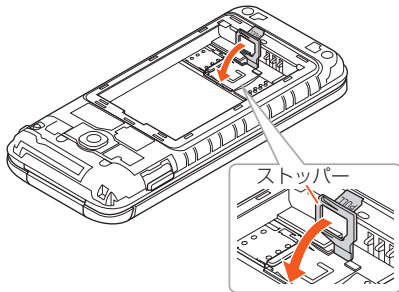
4 SIMカードのIC(金属)部分を下にして矢印の方向にスライドさせ、au ICカードスロットにカチッと音がするまで押して取り付ける

切り欠きの位置に注意してください。



5 ストッパーをカチッと音がするまで倒してロックする

ストッパーがうまく閉じない場合は、いったんストッパーを持ち上げて、SIMカードが正しく奥まで差し込まれているかを確認してください。

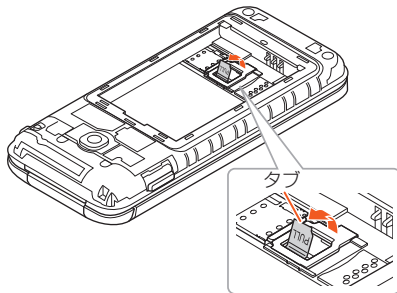


6 電池パック・背面カバーを取り付ける (▶P.48「電池パックを取り付ける」)

SIMカードを取り外す

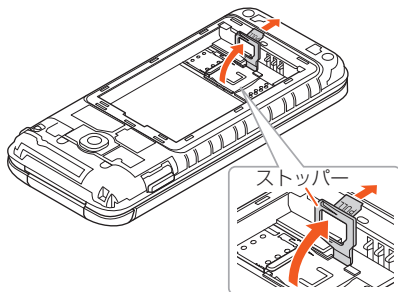
1 本製品の電源を切り、電池パックを取り外す (▶P.50「電池パックを取り外す」)

2 タブを矢印の方向に持ち上げる

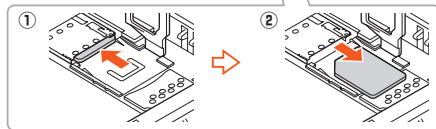
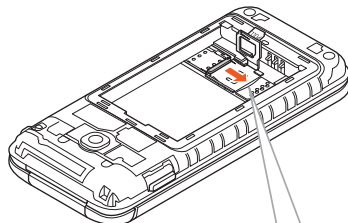


3 タブを引っ張り、ストッパーを矢印の方向に持ち上げる

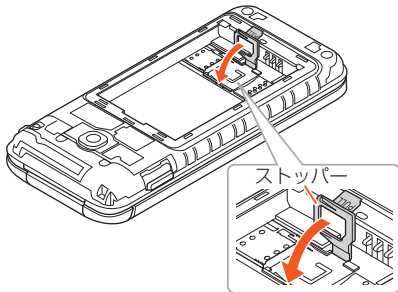
ストッパーを持ち上げる際に、強い力をかけないようにご注意ください。ストッパーが破損するおそれがあります。



4 SIMカードをカチッと音がするまで押したあと(①)、まっすぐに引き出す(②)



5 ストッパーをカチッと音がするまで倒し、ロックする



6 電池パック・背面カバーを取り付ける
(▶P.48「電池パックを取り付ける」)

microSDメモ리카ードを取り付ける／取り外す

microSDメモ리카ードを取り付ける

microSDメモ리카ードの取り付けは、本製品の電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください。

1 本製品の電源を切り、電池パックを取り外す

(▶P.50「電池パックを取り外す」)

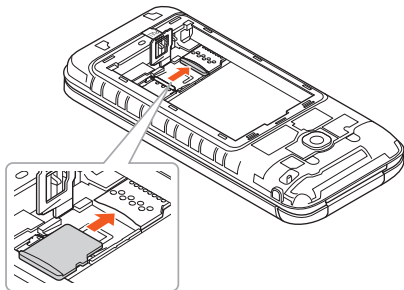
2 タブを持ち上げる(▶P.51)

3 タブを引っ張り、ストッパーを持ち上げる(▶P.51)

ストッパーを持ち上げる際に、強い力をかけないようにご注意ください。ストッパーが破損するおそれがあります。

4 microSDメモ리카ードの端子(金属)面を下にして矢印の方向にスライドさせ、microSDメモ리카ードスロットに取り付ける

microSDメモ리카ードを差し込む向きに注意してください。



5 ストッパーをカチッと音がするまで倒してロックする(▶P.53)

ストッパーがうまく閉じない場合は、いったんストッパーを持ち上げて、microSDメモ리카ードが正しく奥まで差し込まれているかを確認してください。

6 電池パック・背面カバーを取り付ける (▶P.48「電池パックを取り付ける」)



memo

- ◎microSDメモ리카ードには、表裏／前後の区別があります。
無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損したりするおそれがあります。
- ◎microSDメモ리카ードの端子部には触れないでください。

microSDメモリカードを取り外す

microSDメモリカードの取り外しは、本製品の電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください。

1 本製品の電源を切り、電池パックを取り外す

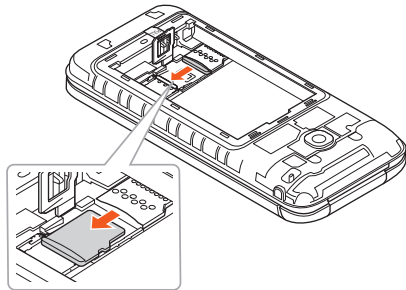
(▶P.50「電池パックを取り外す」)

2 タブを持ち上げる(▶P.51)

3 タブを引っ張り、ストッパーを持ち上げる(▶P.51)

ストッパーを持ち上げる際に、強い力をかけないようにご注意ください。ストッパーが破損するおそれがあります。

4 microSDメモリカードを矢印の方向にスライドさせ、microSDメモリカードスロットから取り外す



5 ストッパーをカチッと音がするまで倒してロックする(▶P.53)

6 電池パック・背面カバーを取り付ける(▶P.48「電池パックを取り付ける」)

 memo

- ◎ microSD メモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
- ◎ 長時間お使いになった後、取り外した microSD メモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

充電する

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

- 充電中は充電ランプが赤色に点灯します。充電が完了すると、充電ランプが消灯します。

 memo

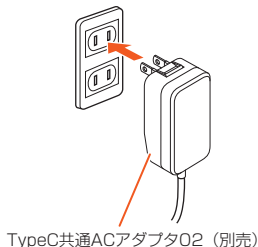
- ◎ 充電中、本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- ◎ カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間が長くなる場合があります。
- ◎ 指定の充電用機器(別売)を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があります。電池のもちが悪くなります。
- ◎ 周囲温度や本製品の温度が、高温や低温になっている場合には、充電が遅くなったり、停止することがあります。できるだけ常温の環境で充電してください。
- ◎ 本製品の充電ランプが赤色に点滅したときは、接続などが正しいかご確認ください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、au ショップ／au Style もしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
- ◎ 充電中に「100%」が表示された後でも、すぐに充電ランプが消灯しないことがあります。間もなくランプも消灯し充電完了となります。

◎外部接続端子に金属製のアクセサリや導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。

1 ACアダプタを使って充電する

TypeC共通ACアダプタ02(別売)を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ(別売)については、「周辺機器」(▶P.134)をご参照ください。

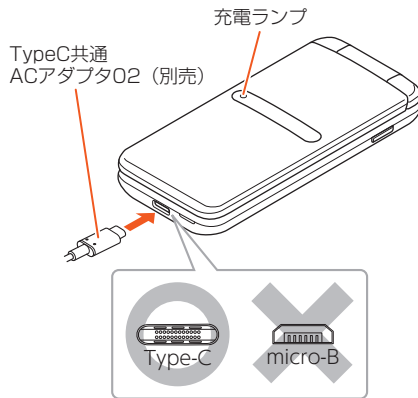
1 TypeC共通ACアダプタ02(別売)の電源プラグをコンセント(AC100V~240V)に差し込む



2 TypeC共通ACアダプタ02(別売)のUSB Type-Cプラグを外部接続端子にまっすぐに差し込む

USB Type-Cプラグは表裏どちらの向きでも差し込むことができます。

本製品の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。本製品の電源が入っている場合は、ステータスバーに「」が表示されます。充電が完了すると、充電ランプが消灯します。



3 充電が完了したら、外部接続端子からTypeC共通ACアダプタ02（別売）のUSB Type-Cプラグをまっすぐに引き抜く

4 TypeC共通ACアダプタ02（別売）の電源プラグをコンセントから抜く

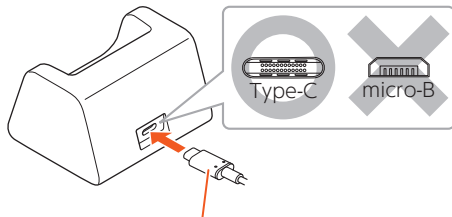


- ◎外部接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
- ◎電池が切れた状態で充電すると、充電ランプがすぐに点灯しないことがあります。充電は開始しています。

卓上ホルダと指定のACアダプタを使って充電する

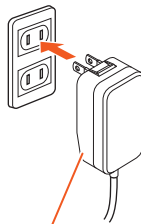
卓上ホルダ(KYF39PUA)（別売）とTypeC共通ACアダプタ02（別売）を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ（別売）については、「周辺機器」(▶P.134)をご参照ください。

1 卓上ホルダ(KYF39PUA)（別売）の接続端子にTypeC共通ACアダプタ02（別売）のUSB Type-Cプラグを差し込む



TypeC共通ACアダプタ02（別売）

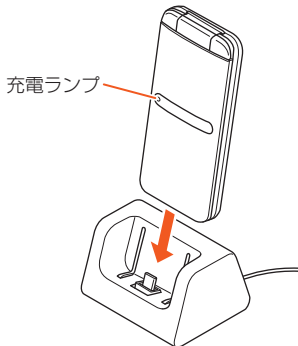
2 TypeC共通ACアダプタ02（別売）の電源プラグをコンセント(AC100V～240V)に差し込む



TypeC共通ACアダプタ02（別売）

3 本製品を閉じた状態で卓上ホルダ(KYF39PUA)(別売)に取り付ける

矢印の方向に本製品をはめ込みます。本製品と卓上ホルダ(KYF39PUA)(別売)の向きに注意して、外部接続端子に奥までしっかりとまっすぐに差し込むように取り付けてください。本製品の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。充電が完了すると、充電ランプが消灯します。



4 充電が完了したら、本製品を卓上ホルダ(KYF39PUA)(別売)から取り外す

5 TypeC共通ACアダプタ02(別売)の電源プラグをコンセントから抜く

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 を2秒以上長く押す

- 初めて電源を入れたときは初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。



memo

◎電源がONになったとき、SIMカードを読み込むため、待受画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。この間、キーが効かなくなることがありますが故障ではありません。

電源を切る

1 を1秒以上長く押す

2 [はい]

強制的に電源を切り再起動する

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に本製品の電源を切り再起動することができます。

1 とを同時に11秒以上長く押す



◎強制的に電源を切ると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

Device Controlについて

電話やWi-Fi®などの機能を個別に制限し、業務に適した設定が簡単に行えるDevice Controlを搭載しています。設定用のPCなどは不要で、本製品のみで設定できます。設定の複製も簡単に行うことができます。

• Device Controlを利用するには、本製品の初期設定時にDevice Controlを有効にする必要があります(▶P.63)。



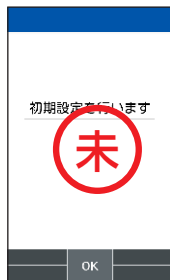
◎詳しくは、『取扱説明書 詳細版』をご参照ください。
『取扱説明書 詳細版』はauホームページからダウンロードできます。

初期設定をする

お買い上げ後、初めて本製品の電源を入れたときは、自動的に初期設定画面が表示され、au IDの設定ができます。

au IDはauのサービスをご利用いただくお客さまを識別するためのIDです。お客さまのau電話番号をau IDとして登録します。au IDを設定するとauスマートパス／My au／au PAYなどau提供のさまざまなサービスがご利用になれます。

1



- Device Control(▶P.62)を有効にする場合は、「初期設定を行います」の画面が表示されたらを押さずに、と入力します。

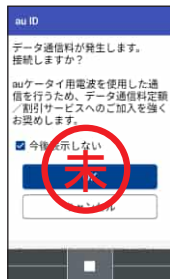
2 内容を確認→

3 [許可する(推奨)]

- 必要に応じて (詳細説明)で詳細を確認します。
- [許可しない]を選択すると各機能を利用するときに確認画面が表示されることがあります。

4 内容を確認→→→



5 内容を確認→[OK]**6** au ID設定完了画面が表示される→[OK]

au IDの設定が完了して、設定を終了します。



ポインターを利用する

本製品はポインターを $\square$ / $\square$ / $\square$ / $\square$ で操作します。ポインターに対応した機能／アプリを起動し、ポインターをONにすると、画面に表示されるポインターを操作できます。

1 ポインターに対応した機能／アプリを起動する

ステータスバーに「 $\blacksquare$ 」(OFF)／「 $\blacksquare$ 」(ON)が表示され、ポインターがONの場合は、「 $\blacktriangleright$ 」など(ポインター)が表示されます。

- ポインターがOFFの場合は、「ポインターをONにする」(▶P.65)をご参照ください。
- ポインターの起動確認画面が表示された場合は、内容を確認してから「この画面を閉じる」を選択してください。「今後表示しない」にチェックを入れると、次回以降、起動確認画面が表示されません。

ポインターの操作について

ブラウザなどを操作するときに、画面上のポインターを上下左右に移動して操作できます。

■ ポインターをONにする

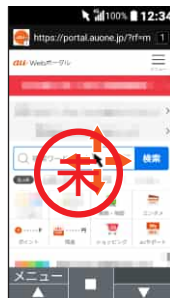
1 ポインターに対応した機能やアプリを起動中に $\boxed{F3}$ を1秒以上長く押す

ポインターのON／OFFの設定が切り替わります。

- ポインターがONの場合でも、キー操作($\square$ / $\square$ / $\square$ / $\square$ 以外)は可能です(一部のアプリを除く)。

■ ポインターを移動する

$\square$ / $\square$ / $\square$ / $\square$ を押すと、ポインターが上下左右に移動します。また、 $\square$ や $\square$ と $\square$ や $\square$ を同時に押したり、カーソルキーの斜め4隅を押したりすると斜めに移動できます。



■ ボタンなどを選択する

選択したいボタンや項目などの上にポインターがある状態で $\blacksquare$ を押すと、そのボタンや項目などが決定(実行)されます。



■ 画面をスクロールする

ポインターが画面の上下左右端にあるときに、 $\square$ / $\square$ / $\square$ / $\square$ で画面の外側の方向に動かします。



- $\blacksquare$ を2秒以上長押しするとポインターが「 $\text{⬅} \text{⬆} \text{⬇} \text{⬅}$ 」に変わり、 $\square$ / $\square$ / $\square$ / $\square$ で画面をスクロールできるようになります。

待受画面を利用する

待受画面では、本製品の状態を確認できます。

■ 待受画面の見かた



① ステータスバー

通知アイコンやステータスアイコンが表示されます(▶P.68)。

② ウィジェットエリア

ウィジェットやアプリを利用できます。

- ・「ウィジェット」とは、時計やカレンダーなど、待受画面で情報を簡単に確認できる表示のことです。

③ カスタマイズキー割り当て機能表示

F1 **F2** **F3** に割り当てられた機能が表示されます。

④ 通知表示

不在着信や新着のEメール／＋メッセージ(SMS)などのお知らせ通知が表示されます。

戻る / **クリア** を押すと非表示になります。

- ・通知を選択→**決定**と操作したり、各アプリを起動して内容を確認したりすると通知表示は消えます。

■ ウィジェットや通知表示を利用する

待受画面に表示されたウィジェットや通知表示を利用できます。

■ ウィジェットを利用する

① 待受画面で $\downarrow$ →ウィジェットを選択



- ・ウィジェットの選択画面では $\boxtimes$ でウィジェットを選択することもできます。

■ 通知表示を選択する

1 項目を選択→

- ・通知表示が非表示になっている場合は、本体を一度閉じてからもう一度開くと表示されます。

■ 待受画面のウィジェットを編集する

待受画面に表示されているウィジェットを編集します。

1 待受画面で→ (編集)

2 編集するウィジェットまたは空きスペースを選択→

3 追加	選択した空きスペースにウィジェットを追加します。「ウィジェット」「アプリ」から追加したいウィジェットを選択します。
並べ替え	選択したウィジェットを並べ替えます。 移動したい位置にウィジェットを移動→  で並べ替えできます。
削除	選択したウィジェットを削除します。画面上から削除されるだけで、本体内から削除はされませんので、再度追加をすることができます。
時計色変更	選択した時計ウィジェットの表示色を変更できます。

■ 本製品の状態を知る

■ アイコンの見かた

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■ 主な通知アイコン

アイコン	概要
	不在着信あり
 / 	新着Eメール／メールサーバーにEメールあり
	新着＋メッセージあり／新着SMSあり
	通話中、着信中
	VoLTE対応電話機との高音質通話中
	伝言メモあり
	本体の空き容量低下
	スクリーンショットで撮影した画像あり
	ソフトウェア更新情報あり
	まとめられたアイコンあり ・ステータスバーにすべてのアイコンを表示しきれない場合に表示されます。

■ 主なステータスアイコン

アイコン	概要
	時刻
	電池レベル状態 : 100% : 残量なし : 充電中 : バッテリーケアモードを「ON」に設定中
	機内モード設定中
	電波の強さ(受信電界) : レベル4 : 圏外 : 通信中 ・ネットワークを示すアイコンが表示されます。 : 4G(LTE)使用可能 : ローミング中 (ネットワークに応じた通信方式もあわせて表示します)
	SIMカード未挿入
	マナーモード状態 : マナーモード : ドライブモード : サイレントモード
	ハンズフリーで通話中
	通話中のマイクを「OFF」に設定中
	Wi-Fi®の電波の強さ : レベル表示 : 通信中
	Bluetooth®利用中 : 待機中 : 接続中

アイコン	概要
	伝言メモ設定中 : 伝言メモ設定中 : 伝言メモ全件録音済み

■ 通知パネルについて

通知パネルでは、通知内容の確認や対応するアプリの起動ができます。

また、簡易設定を利用して、Wi-Fi®やBluetooth®などのよく使う機能のON/OFFをすぐに設定できます。

1 を1秒以上長く押す

通知パネルが表示されます。

- ・待受画面で→ステータスバーを選択→と操作しても、通知パネルを表示できます。

■ 簡易設定

通知パネル表示中に (簡易設定) を押すと、通知パネルから簡易設定に切り替わります。



《通知パネル》

《簡易設定》

① 通知エリア

本製品の状態や通知内容を確認できます。

② 設定メニュー

よく使う機能のON/OFFを設定できます。

■ 通知パネルを利用する

1 通知パネルで操作したい通知を選択



通知に対応したアプリを起動することができます。

■ 通知を削除する

1 通知パネルで削除したい通知を選択

→ (メニュー) → [1件削除] → [はい]
→ [OK]

「全件削除」を選択すると、通知を全件削除することができます。ただし、電池残量表示など、削除できない通知もあります。

■ 簡易設定を利用する

例: Wi-Fi®機能のON/OFFを切り替える場合

1 簡易設定画面で[Wi-Fi]

操作するたびにWi-Fi®機能のON/OFFが切り替わります。



memo

◎通知パネル表示中に /  を押すと、通知パネルの表示を終了できます。

マナーモードを設定する

マナーモードを選択するだけで、公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定できます。

1 待受画面で[設定]→[サウンド・通知]→[マナーモード]

マナーモード設定メニューが表示されます。

マナーモード	本製品のスピーカーから音を鳴らしません。また、バイブレータがONになります。
サイレントモード	音を鳴らさないだけでなく、バイブレータもOFFになります。
ドライブモード	音を鳴らさないだけでなく、バイブレータもOFFになります。着信時には相手に運転中であることをお知らせするアナウンスが流れ、自動的に伝言メモが起動します。 • 伝言メモの起動については設定を変更できます。「伝言メモを設定する」(▶P.94)をご参照ください。

3 [鳴らす]／[鳴らさない]

マナーモード中の動画や音楽の音を鳴らすかどうかを設定されます。



- ◎自動車を運転中の携帯電話の使用は、交通事故の原因となり、危険なため法律で禁止されています。運転中はマナーモードを「ドライブモード」に設定してください。
- ◎待受画面で「マナー/シャッター」を押すと、マナーモードの設定メニューが表示され、マナーモードを設定できます。
- ◎待受画面または本製品を閉じた状態で「マナー/シャッター」を1秒以上長押しすると、前回設定したマナーモードになります。もう一度「マナー/シャッター」を1秒以上長押しすると、マナーモードを解除できます。
- ◎マナーモード中でもカメラのシャッター音や録画開始音／終了音は鳴動します。また、アラームの設定によってはアラーム音も鳴動します(ドライブモードは除く)。
- ◎マナーモード設定中に消音の状態でデータが再生された場合、機能によっては、再生中に「[]」を押すと、音量を調節できます。

機内モードを設定する

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能(電話、データ通信、無線LAN(Wi-Fi®)機能、Bluetooth®機能)がすべてOFFになります。

1 待受画面で→[設定]→[無線・ネットワーク]→「機内モード」にチェックを入れる

機内モードが設定されると、ステータスバーにが表示されます。



- ◎機内モードをONに設定すると、電話をかけることも受けることもできません。ただし、110(警察)、119(消防機関)、118(海上保安本部)には、電話をかけることができます。なお、電話をかけた後は、自動的にOFFに設定されます。
- ◎機内モードをONに設定すると、メールの送受信などもできなくなります。
- ◎機内モードがONの場合でも無線LAN(Wi-Fi®)/Bluetooth®機能をONにすることができます。航空機内や病院などでご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。

自分の電話番号を確認する

プロフィールを確認する

1 待受画面で→[プロフィール]

プロフィール画面が表示されます。

- ・待受画面で→と操作しても確認できます。

プロフィールを編集する

1 プロフィール画面で (メニュー)→[編集]

プロフィール編集画面が表示されます。

2 必要な項目を入力

- ・編集中に (メニュー)→[項目を追加]→追加する項目にチェックを入れる→ (追加)と操作すると、項目を追加できます。

3 (登録)→[OK]



- ◎プロフィール編集についての注意事項は、電話帳登録と同様です。詳しくは、「電話帳に登録する」(▶P.95)をご参照ください。

◎プロフィール画面で☰(メニュー)→[リセット]→[はい]→[OK]と操作すると、プロフィールをリセットできます。

サブディスプレイを利用する

サブディスプレイは、日時・時間、マナーモードや電池残量などの端末の状態、着信相手などの情報を表示してお知らせします。

本製品を閉じているときに「マナー/シャッター」を押したときや、本製品を閉じたときなどにサブディスプレイが点灯します。

サブディスプレイの見かた



《時計・通知アイコン表示》

《ステータスアイコン表示》

■主なアイコン

アイコン	概要
	電波の強さ(受信電界) :強 :中 :弱 :微弱 :圏外 :機内モード設定中 ・ネットワークを示すアイコンが表示されます。 :4G(LTE)使用可能 :ローミング中(ネットワークに応じた通信方式もあわせて表示します)
	電池レベル表示 :100% :残量なし :充電中 :バッテリーケアモードを「ON」に設定中
	マナーモード状態 :マナーモード :ドライブモード :サイレントモード
	不在着信あり
	伝言メモあり
	新着Eメール／メールサーバーにEメールあり
	新着+メッセージあり／新着SMSあり
	Wi-Fi®接続中／Wi-Fi®接続中(オープン)

メインメニューを利用する

1 待受画面で

メインメニューが表示されます。

2 メニューを選択→

メニューはダイヤルキー(0～9、＊、＃)に対応しており、各キーを押してメニューを選択することもできます。

■ メインメニューの見かた



《メインメニュー》

■ メインメニュー一覧

メニュー	概要
auスマートパス	「auスマートパスプレミアム/auスマートパス」を最大限活用するためのアプリです。お得で、楽しく、あんしんなスマホライフを提供します。
My au	毎月のご請求額や、データ通信量(ギガ)、ご契約情報、ポイントなどが簡単に確認できるアプリです。各種お手続き、お問い合わせもスムーズに行えます。
au PAY	au WALLEET アプリはau PAY アプリに生まれ変わりました。au PAYの利用、au PAY プリペイドカードへのチャージやカード残高の確認、au PAY カードの請求額の確認、auかんたん決済の情報の確認、ポイントの残高・お買い物履歴・特典の確認などをご利用いただけます。
カメラ	フォト／ムービーを撮影できます。(▶P.116)
データフォルダ	撮影したフォト／ムービー、ダウンロードしたファイルなどを確認できます。

メニュー	概要
ブラウザ	パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。 ブラウザは、ポインター対応アプリです。
アプリ・サービス※	
天気アプリ	現在地や設定したエリアの天気情報を確認できます。
au助手席ナビ	最新のVICS渋滞情報や交通状況を考慮して、目的地までの最適ルートを案内するカーナビゲーションアプリです。
auナビウォーク	乗物・徒歩を組み合わせた最適なルートをナビゲーションするアプリです。
au Wi-Fi接続ツール	auの公衆無線LANサービス「au Wi-Fi SPOT」をご利用いただくためのアプリです。
OfficeSuite	Word、Excelなどのファイルを閲覧できます。
auセルフケア	本製品の設定状態を分かりやすく確認したり、設定の変更をかんたんに行うことができます。

メニュー	概要
ツール	
アラーム	アラームを利用できます。 (▶P.119)
カレンダー	カレンダーを利用できます。
カウントダウンタイマー	カウントダウンタイマーを利用できます。
ストップウォッチ	ストップウォッチを利用できます。
世界時計	世界の都市の時刻を複数登録して確認できます。
メモ帳	メモ帳を利用できます。
電卓	電卓を利用できます。
漢字チェック	漢字チェックを利用できます。 (▶P.122)
音声レコーダー	音声レコーダーを利用できます。
QRコードリーダー	QRコードを読み取ります。
FMラジオ	ラジオを利用できます。 (▶P.120)
データスイッチ	データを移行できます。 (▶P.124)

メニュー	概要
安心・安全	
災害対策機能	災害用伝言板や、緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報(Jアラートからの配信含む)、津波警報、特別警報)、災害用音声お届けサービス、災害関連情報を利用できます。
データお預かり	写真やアドレス帳など携帯電話に保存されている様々なデータをauのサーバーに預けたり、microSDメモ리카ードに保存したりするアプリです。機種変更時のデータ移行のツールとしてもご利用できます。
遠隔操作サポート	携帯電話の操作で困ったとき、お客さまの端末の画面を共有し、お客さまの操作をサポートするアプリです。
あんしんフィルター for au	お子さまが携帯電話を安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。 あんしんフィルター for auは、ポインター対応アプリです。

メニュー	概要
安心・安全	
安心ナビ(探される)	自分の居場所を確認して、パートナーにお知らせすることができるサービスです。
ウイルスバスター for au	不正アプリの取得を防止したり、不適切なサイトへのアクセスをブロックできるアプリです。
迷惑メッセージ・電話ブロック	迷惑SMS・電話からお客さまを守るサービスです。 架空請求などの迷惑SMSや迷惑電話を自動検知し、スマートフォンの画面に警告画面を表示したり、迷惑メッセージフォルダに自動振り分けをします。 また、公共施設や企業などからの着信時には、アドレス帳になくても発信元を自動表示します。
電話・メール	
通話履歴	着信や発信の履歴画面や、発信頻度を閲覧できます。
電話帳	電話帳に連絡先を登録したり、登録内容を利用できます。 (▶P.95)
伝言メモ	電話に出ることができないとき、応答メッセージを流して相手の方の伝言を録音できます。

メニュー	概要
電話・メール	
通話音声メモ	通話中の相手の方と自分の音声を録音できます。
通話設定	通話に関する設定をします。
スピードダイヤル	スピードダイヤルの一覧を表示します。(▶P.90)
Eメール	Eメール(@au.com/@ezweb.ne.jp)のアドレスを利用してメールの送受信ができます。(▶P.99)
+メッセージ(SMS)	電話番号を宛先として+メッセージ(SMS)の送受信ができます。(▶P.107)
PCメール	普段パソコンやスマートフォンなどで利用しているメール(POP3/IMAP)を、本製品でも同じように送受信することができます。
プロフィール	プロフィールの確認や編集ができます。(▶P.72)
設定	設定メニューから各種機能を設定、管理します。(▶P.125)

※ 追加で取得したアプリは「アプリ取り放題」(▶P.77)に表示されます。



memo

- ◎アプリを起動してそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
- ◎アプリのバージョンアップなどによって、本製品に搭載されるアプリやアイコンなどのデザインが本書の記載と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ◎オールリセットを実行しても、プリセットされているアプリは削除されません。

アプリ・サービスを利用する

「アプリ・サービス」ではインストールされているアプリを利用したり、追加でアプリを取得したりすることができます。

1 待受画面で → [アプリ サービス]

アプリ・サービス画面が表示されます。

- ・待受画面で  を1秒以上長押ししても、アプリ・サービス画面を表示できます。
- ・ を押すとタブが切り替わります。

2 アプリを選択 →

■ アプリを検索する

- 1 待受画面で→[アプリ サービス]→
・アプリ取り放題タブを表示してください。

2 (アプリ取得)

auスマートパスのサイトが表示されますので、画面に従ってアプリを検索、取得してください。取得したアプリは、「アプリ取り放題」タブに表示されます。

■ メインメニューを変更する

- 1 待受画面で→ (メニュー)
- 2 [レイアウト]→でメニューを選択→

カスタムメニューを利用する

カスタムメニューに好みのアプリを登録することで、アプリを簡単に呼び出すことができます。

■ カスタムメニューにアプリを登録する

- 1 待受画面で→ (カスタムメニュー)
カスタムメニュー画面が表示されます。
- 2 アプリを登録したい位置の「アプリを登録」を選択→
- 3 登録したいアプリを選択→

■ カスタムメニューを利用してアプリを呼び出す

- 1 待受画面で→ (カスタムメニュー)
- 2 アプリを選択→

アプリを並べ替える

- 1 カスタムメニュー画面で並べ替えたいアプリを選択→ (メニュー)
- 2 [並べ替え]→並べ替えたい位置を選択→

アプリを削除する

- 1 カスタムメニュー画面で削除したいアプリを選択→ (メニュー)
- 2 [削除]→削除したいアプリにチェックを入れる→ (削除)
 - チェックを入れたアプリが削除されます。
 -  (メニュー)→ (全選択)／ (全解除)で全選択または全解除ができます。

カスタマイズキーを利用する

-    を押したときの動作を設定します。
- お買い上げ時には以下のアプリが割り当てられています。
 -  : 電卓
 -  : 設定なし
 -  : 設定なし
 - 設定なしのキーを押すと、カスタマイズキー設定画面が表示されます。

- 1 待受画面で→[設定]→[カスタマイズキー]
カスタマイズキー設定画面が表示されます。

- 2 設定したいキーを選択→
- 3 設定したいアプリを選択→

共通の操作を覚える

基本的なキー操作を覚えよう

■ 画面の最下行に表示された内容を実行するには

画面の下部に表示された内容を実行するには、対応するキーを押します。



①「スピーカーON」は、を押します。

②「メニュー」は、を押します。

③「マイクOFF」は、を押します。

④「聞こえ」は、を押します。

⑤「プロフィール」は、を押します。

・画像を表示しているときなど、画面の最下行に表示されていない場合は、や、などを押すと表示されます。

■ 項目を選択するには

表示された項目を選択するには、やで項目を選択してを押します。

■ 1つ前の画面に戻るには

を押すと、1つ前の画面に戻ることができます。

■ 待受画面に戻るには

各機能から待受画面に戻るには、を押します。

- ・一定時間キー操作をしないと、自動的に待受画面に戻る場合があります。
- ・通話中に各機能呼び出ししている場合は、通話が切れることがあります。
- ・操作中の機能やアプリが終了します。

■ 数字を入力するには

～を押すと、数字を入力できます。

数字を入力する欄の上下に「▲」と「▼」が表示されている場合は、を押すことで、数を増減できます。

■ 前後のデータへ移動するには

メール表示中などに、を押すと次のデータへ、を押すと前のデータへ移動できます。

■ ページスクロールするには

Webページのブラウジング中や、メール一覧画面、データ一覧画面(リスト表示)などでは、を押すと上に、を押すと下にページスクロールできます。

■ チェックボックスを利用する

設定項目の横にチェックボックスが表示されているときは、項目またはチェックボックスを選択することで設定のON/OFFを切り替えることができます。

また、データの「選択コピー」「選択削除」などをする際は、チェックボックスを選択することで項目の選択／選択解除を切り替えることができます。

アイコン例	説明
☒	設定がON／項目が選択されている状態です。
☐	設定がOFF／項目が選択されていない状態です。

本製品を閉じたときにマナー／シャッターキーの操作を無効にする(キーロック)

1 待受画面でを1秒以上長く押し→[OK]

本製品を閉じると「マナー/シャッター」の長押しでのマナーモード設定／解除操作が無効になります。もう一度を1秒以上長押し→[OK]と操作すると、解除されます。



memo

- ◎ 「マナー/シャッター」の操作を無効に設定して本製品を閉じていても、アラームやメール受信音などのお知らせ音を止めたり、サブディスプレイの表示を切り替えたりすることができます。

文字入力

文字入力の方法を覚える

■ 文字入力時の各キーの割り当て一覧

文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全角/半角)
[1]	▶ あいうえおあいうえお	▶ . @ _ / : ~ ? , ' ! 1	1
	カタカナ(全角/半角)	半角英字	ダイヤル入力
	▶ アイウエオアイウエオ	▶ . @ _ / : ~ ? , ' ! 1	1
文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全角/半角)
[2]	▶ かきくけこ	▶ a b c A B C 2	2
	カタカナ(全角/半角)	半角英字	ダイヤル入力
	▶ カキクケコ	▶ a b c A B C 2	2
文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全角/半角)
[3]	▶ さしすせそ	▶ d e f D E F 3	3
	カタカナ(全角/半角)	半角英字	ダイヤル入力
	▶ サシスセソ	▶ d e f D E F 3	3
文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全角/半角)
[4]	▶ たちつてとっ	▶ g h i G H I 4	4
	カタカナ(全角/半角)	半角英字	ダイヤル入力
	▶ タチツテトッ	▶ g h i G H I 4	4

文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全角/半角)
[5]	▶ なにぬねの	▶ j k l J K L 5	5
	カタカナ(全角/半角)	半角英字	ダイヤル入力
	▶ ナニヌネノ	▶ j k l J K L 5	5
文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全角/半角)
[6]	▶ はひふへほ	▶ m n o M N O 6	6
	カタカナ(全角/半角)	半角英字	ダイヤル入力
	▶ ハヒフヘホ	▶ m n o M N O 6	6
文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全角/半角)
[7]	▶ まみむめも	▶ p q r s P Q R S 7	7
	カタカナ(全角/半角)	半角英字	ダイヤル入力
	▶ マミムメモ	▶ p q r s P Q R S 7	7
文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全角/半角)
[8]	▶ やゆよやゆよ	▶ t u v T U V 8	8
	カタカナ(全角/半角)	半角英字	ダイヤル入力
	▶ ヤユヨヤユヨ	▶ t u v T U V 8	8
文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全角/半角)
[9]	▶ りりるれろ	▶ w x y z W X Y Z 9	9
	カタカナ(全角/半角)	半角英字	ダイヤル入力
	▶ ラリルレロ	▶ w x y z W X Y Z 9	9

文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全/半)
□○	▶ わをんわ、。ー～！ ？、空白(Δ^ーΔ)	▶ 0 空白(Δ^ーΔ) ！？、' " _ . -	0
	カタカナ(全角/半角)	半角英字	ダイヤル入力
	▶ ワランワ、。ー～！？、 空白(Δ^ーΔ) ※「ワ」は全角カタ カナのみ	▶ 0 空白(Δ^ーΔ) "# \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { } ~	0

文字種	ひらがな漢字	カタカナ(全角/半角)	英字(全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
✱	小文字と大文字を切り替え(可能な文字のみ) °(濁点)や°(半濁点)を付加(可能な文字のみ) ▶、。ー～！？ 空白(Δ^ーΔ)		小文字と大文字を切り替え(可能な文字のみ) 文字確定時は ▶、。ー～！？	*	短く押す✱ 1秒以上 長押し.... +(プラス)
文字種	ひらがな漢字	カタカナ(全角/半角)	英字(全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
#	文字入力時は、1つ前の文字を表示(バック機能) 文字確定時は、改行			#	短く押す# 1秒以上 長押し.... ;(ポーズ)

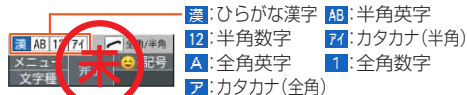
文字種	ひらがな漢字	カタカナ(全角/半角)	英字(全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
☐	メニューから機能引用、定型文などの呼び出し 通常変換と予測変換の切り替え(文字種が「漢」の場合のみ)				—
文字種	ひらがな漢字	カタカナ(全角/半角)	英字(全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
☐	文字入力時に、絵文字/D絵文字/顔文字/記号の一覧を表示 絵文字/D絵文字/顔文字/記号の一覧を切り替え 文字入力時(変換候補表示中)は、英数カナ変換と予測変換を切り替え				—
文字種	ひらがな漢字	カタカナ(全角/半角)	英字(全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
☐	文字種の切り替え 前のカテゴリ/ページへの切り替え(絵文字/D絵文字/顔文字/記号/変換候補選択中の場合のみ)				—
文字種	ひらがな漢字	カタカナ(全角/半角)	英字(全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
☐	文字を確定直前の状態に戻す 次のカテゴリ/ページへの切り替え(絵文字/D絵文字/顔文字/記号/変換候補選択中の場合のみ)				—

文字種	ひらがな漢字	カタカナ(全角/半角)	英字(全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
☐	カーソルの左移動 変換候補の選択 予測変換時、文節範囲縮小				—
文字種	ひらがな漢字	カタカナ(全角/半角)	英字(全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
☐	カーソルの右移動 変換候補の選択 予測変換時、文節範囲拡大(字数指定予測をONに設定している場合のみ) カーソルが文末にある場合は、半角/全角の空白(スペース)を入力				—
文字種	ひらがな漢字	カタカナ(全角/半角)	英字(全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
☐	カーソルの上移動 変換候補の選択				—
文字種	ひらがな漢字	カタカナ(全角/半角)	英字(全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
☐	カーソルの下移動 変換候補の選択 カーソルが文末にある場合は、改行				—
文字種	ひらがな漢字	カタカナ(全角/半角)	英字(全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
☐	全角と半角を切り替え				—

文字種	ひらがな漢字	カタカナ(全角/半角)	英字(全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
☐	短く押す.....カーソルの文字を1文字削除 カーソルに文字がない場合は、カーソル左側の文字を1文字削除 変換候補の選択時は、候補選択を抜けて1文字削除				短く押す.... 1桁削除
	1秒以上長押し....カーソルから右側の文字をすべて削除 カーソルが文頭または文末にある場合は、文字をすべて削除				1秒以上長押し.... すべて削除

■ 入力する文字の種類を変更するには

文字入力画面で (文字種) を押すたびに文字種が切り替わります。全角/半角を切り替えるには を押します。



待受画面ですぐに文字を入力する

「すぐ文字」をONにすると、待受画面からすぐに文字を入力できます(全角最大1,000文字/半角最大1,000文字)。電話番号も同時に入力されます。入力した文字や電話番号はさまざまな機能に利用できます。

1 待受画面で□→[設定]→[その他の設定]→[言語と入力]→「すぐ文字」にチェックを入れる

■ 待受画面から入力した文字を利用する

1 待受画面で文字を入力→□(完了)

インターネット検索	インターネットに接続し、入力した文字でキーワード検索します。
地図検索	入力した文字が設定された地図アプリを起動します。店名/住所/駅名などを自由に入力して、全国のスポットを簡単に検索できます。

乗換検索	インターネットに接続し、入力した文字を出発駅とした乗換案内を起動します。また、出発駅と到着駅を入力することもできます(例:「東京駅 大阪駅」や「東京駅から大阪駅」など)。
メール本文	入力した文字を本文としてEメールを作成します。 ▶P.103「Eメールを送信する」
電話帳登録(名前)	入力した文字を電話帳の名前として新規に登録します。 ▶P.95「電話帳に登録する」
スケジュール登録	入力した文字を件としてカレンダーを起動します。
メモ帳	入力した文字をメモ帳として起動します。
漢字チェック	入力した文字で漢字チェックを行います。 ▶P.122「漢字チェック」



memo

- ◎待受画面で電話番号を入力→□→□/□(発信)と操作すると、画面下部に表示されている電話番号に電話をかけられます。
- ◎すぐ文字メニュー表示中にⓈ(並び替え)を押すと、すぐ文字メニューを並び替えることができます。

電話

電話をかける

電話番号を入力して電話をかける

1 待受画面で電話番号を入力

ダイヤル画面が表示され電話番号が入力されます。

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

:カーソルの位置を移動

:入力した数字を一桁削除

を1秒以上長押し:待受画面に戻る

(登録):入力した電話番号を電話帳に登録 (▶P.95)

2 → 通話

・ (発信) → [発信] と操作しても、電話をかけることができます。

通話中の操作:

(スピーカーON/スピーカーOFF):ハンズフリー通話ON/OFF

(メニュー):メニューを表示

(聞こえ):聞こえ調整

相手の方の声の聞こえかたを調整します。

(マイクOFF/マイクON):ミュートON/OFF

(プロフィール):プロフィールを表示

:通話音量(相手の方の声の大きさ)を調節

:通話を保留

(クリア):通話音声メモを録音

3

・本製品を閉じてても通話を終了できます。



memo

◎「すぐ文字」をONにしている場合は、待受画面で電話番号を入力するとすぐ文字画面が表示されます (▶P.85)。 → / (発信) と操作すると、電話をかけられます。

◎送話口(マイク)を覆っても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。

◎「機内モード」を設定中でも、緊急通報番号(110、119、118)へは電話をかけることができます。

◎通話中に画面が消灯しているときに操作する場合は、 / 以外のキーを押します。

◎通話終了後にあとから録音の確認画面が表示された場合は、「はい(今すぐ設定する)」を選択 → と操作するとあとから録音を設定できます。

※ あとから録音は次の通話から動作します。

■ 通話音声メモ／あとから録音を利用する

■ 通話音声メモを録音する

通話中の相手の方と自分の音声を録音します。

- ・「あとから録音」がONの場合は、**クリア**を押しても操作できません。

1 通話中画面で **クリア**

■ 通話音声メモの録音を自動的に開始する(あとから録音)

通話開始と同時に通話音声メモの録音を開始するにはあらかじめ設定が必要です。

1 待受画面で **電話 メール** → **通話音声メモ**

2 「あとから録音」にチェックを入れる

あとから録音を保存するには

通話が終了すると通話音声メモを保存するかどうかの確認画面が表示されます。

- ・[はい] → [OK] と操作すると通話音声メモを保存できます。
- ・「いいえ」を選択すると録音した通話音声メモは削除されますので、ご注意ください。

memo

◎録音できるのは、1件あたり約60分間で、50件までです。50件録音されている場合は、保護されていない通話音声メモが、古いものから順に削除されます。すべて保護されている場合、通話音声メモの録音はできません。

■ 通話音声メモを再生する

1 待受画面で **電話 メール** → **通話音声メモ** → **通話音声メモリスト**

通話音声メモリスト画面が表示されます。

2 再生する通話音声メモを選択 → **再生**

通話音声メモが再生されます。

- ・**ポーズ**を押すと再生中の通話音声メモを停止します。

■ 緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客さまの現在地(GPS情報)が緊急通報先に通知されます。



- ◎警察(110)・消防機関(119)・海上保安本部(118)について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
- ◎日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用した接続はできません。
- ◎本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
- ◎緊急通報番号(110、119、118)の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客さまの現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
- ◎GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
- ◎GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。

- ◎緊急通報受理機関への緊急通報の際には、必ずお客さまの所在地をご確認の上、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
- ◎緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。
- ◎着信拒否を設定した状態で緊急通報を発信した場合、緊急通報受理機関からの着信を受けるため、着信拒否設定は自動的に5分間解除されます。

■ ;(手動ポーズ) / ,(自動ポーズ)ダイヤルで電話をかける

送信するプッシュ信号をあらかじめ入力しておき、通話中にプッシュ信号を送信できます。各種の情報サービスや自動予約サービスを利用する際に便利です。

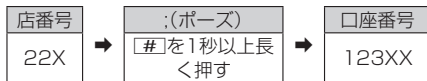
例:;(手動ポーズ)を使用して「03-0001-XXXX(銀行の電話番号)」に電話をかけて、店番号「22X」口座番号「123XX」を送信する場合

1 電話番号(03-0001-XXXX)を入力

→ **#** を1秒以上長く押す

1番目の;(ポーズ)が入力されます。

2 送信するプッシュ信号を入力



2番目の;(ポーズ)が入力されます。

※;(ポーズ)を間に入力すれば、複数のプッシュ信号をつなげて入力できます。

3

通話状態になると、確認画面が表示されます。送信先が電話を受けていることを確認してから「はい」を選択してください。「はい」を選択してを押すごとにプッシュ信号を送信します。



memo

- ◎、(自動ポーズ)ダイヤルで電話をかける場合は、電話番号を入力→ (メニュー)→[自動ポーズ(.)]→送信するプッシュ番号を入力→と操作します。
- ◎電波の状態が悪いと、正しく送信できないことがあります。

履歴を利用して電話をかける

1 待受画面で (着信履歴) / (発信履歴)

着信履歴／発信履歴一覧画面が表示されます。着信履歴／発信履歴の他に、発信頻度も確認できるようになります。

- を押して着信履歴／発信履歴／発信頻度一覧画面を切り替えることができます。

 : 着信

 : 不在着信

 : 不在着信 (ワン切り※¹)

 : 着信拒否

 : 発信

 : 伝言メモ／通話音声メモあり

 : auお留守番サービスのメッセージあり※²

※¹ 約3秒以内に切れた不在着信をワン切りとみなします。お客さまに折り返し電話させ、悪質な有料番組につなげる行為の可能性がありますのでご注意ください。

※² アイコンとあわせて、着信履歴に「auお留守番」が表示されます。

2 履歴から電話をかける相手を選択



選択した相手に電話を発信します。

- 着信履歴／発信履歴一覧画面で履歴を選択→ (詳細)と操作すると着信履歴／発信履歴詳細画面が表示されます。発信頻度一覧画面では詳細画面は表示されません。

■ スピードダイヤルを利用する

スピードダイヤルに登録した連絡先にすばやく電話をかけることができます。また、メールを送信することもできます。

■ スピードダイヤルに登録する

1 待受画面で→[電話 メール]→[スピードダイヤル]

2 登録したい番号の<未登録>を選択→ (編集)

- 連絡先が登録済みの番号を選択した場合は、発信などの操作ができます。

3 登録する連絡先を選択→→[OK]

■ スピードダイヤルで発信する

1 待受画面でスピードダイヤルの番号(0～99)を入力

2

(発信)→[発信]と操作しても、電話をかけることができます。



memo

◎スピードダイヤルで+メッセージ(SMS)やメールを送信する場合は、待受画面でスピードダイヤルの番号(0～99)を入力→ (発信)→[+メッセージ作成]／[メール作成]と操作します。

au電話から海外へかける (au国際電話サービス)

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例:本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にける場合

1 国際アクセスコード「010」を入力

待受画面で✖を1秒以上長押しすると、「+」が入力されたダイヤル画面が表示され、発信時に「010」が自動で付加されます。

2 アメリカの国番号「1」を入力

3 市外局番「212」を入力

市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリアなど一部例外もあります)。

4 相手の方の電話番号「123XXXX」を入力→



- ◎電話番号の入力中に (発信)→[特番付加]→[国際電話]と操作しても国番号を入力できます。
- ◎au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
- ◎ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開します。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
- ◎通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
- ◎ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
au国際電話サービスに関するお問い合わせ:
au電話から(局番なしの)157番(通話料無料)
一般電話から0077-7-111(通話料無料)
受付時間 毎日9:00~20:00

電話を受ける

電話に出る

1 着信中に/■(応答)

通話を開始します。

2 通話→

■電話がかかってきた場合の表示について

着信すると、次の内容が表示されます。

- 相手の方から電話番号の通知があると、電話番号が表示されます。電話帳に登録されている場合は、名前などの情報も表示されます。
- 相手の方から電話番号の通知がないと、理由が表示されます。

「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能※」

※ 相手の方が通知できない電話からかけている場合です。



◎LTE NET、LTE NET for DATAをご契約いただいていない場合、「データ使用量」の「モバイルデータ」をOFFにしてご利用ください。

かかってきた電話に出なかった場合は

◎ステータスバーに「」が表示されます。通知パネルを開くと、着信のあった時間や電話番号、または電話帳に登録されている名前が表示されます。

着信時に着信音、バイブレータを無効にするには

◎着信中に/「マナー/シャッター」を押すと、着信音、バイブレータを無効にすることができます。

他の機能をご利用中に着信した場合は

◎電話帳などの他の機能をご利用中に着信した場合は、着信が優先されます。

◎動画を録画していた場合は、録画が中断され、録画していたデータは保存されます。

◎音声レコーダーなどで録音していた場合は、録音が中断されます。

◎マナーモード(ドライブ)に設定している場合は、自動的に伝言メモが起動します。

着信を拒否する

1 着信中に☎(拒否)

着信音が止まって電話が切れます。相手の方には音声ガイダンスでお知らせします。

- 着信中に☎を押して着信拒否することできます。

ステップアップ着信を設定する

不在着信通知を受けた後、同じ電話番号から10分以内に再度着信を受けると着信音をステップアップしてお知らせするように設定します。

1 待受画面で☑→[電話 メール]→[通話設定]→[着信設定]

2 「ステップアップ着信」にチェックを入れる

- お買い上げ時にはONに設定されています。

不在着信のスヌーズを設定する

未確認の不在着信通知がある場合、スヌーズ通知するように設定します。

1 待受画面で☑→[電話 メール]→[通話設定]

2 「不在着信のスヌーズ」にチェックを入れる

着信してから所定時間(5分/10分/20分/60分)が経過したときに再度お知らせします。

- 次の場合にスヌーズ動作が停止します。
 - 着信履歴を表示したとき
 - 着信してから60分経過したとき

伝言メモを利用する

伝言メモを設定する

1 待受画面で■→[電話 メール]→[伝言メモ]

2 伝言メモリスト	▶P.94「伝言メモを再生する」
伝言メモ応答設定	電話に出ることができないとき、応答メッセージを流して相手の方の伝言を録音するかどうかを設定します。 •待受画面で「クリア」を1秒以上長押ししても設定できます。
応答時間	伝言メモで応答するまでの時間を設定します。
応答メッセージ	伝言メモの応答メッセージを設定します。オリジナルの応答メッセージを作成することもできます。
ドライブモード中有効	マナーモードを「ドライブモード」に設定しているときに、伝言メモで応答するかどうかを設定します。

伝言メモを再生する

1 待受画面で■→[電話 メール]→[伝言メモ]

2 [伝言メモリスト]

- 待受画面で「クリア」を押しても伝言メモリスト画面を表示できます。

3 再生する伝言メモを選択→■

伝言メモが再生されます。

- (ポーズ)で再生中の伝言メモを停止します。

電話帳

電話帳に登録する

連絡先の電話番号やメールアドレスなどの情報を電話帳に登録できます。連絡先ごとに着信音やバイブレータなどを設定することもできます。

1 待受画面でを1秒以上長く押す

電話帳編集画面が表示されます。

2 必要な項目を設定

- 登録中に (メニュー) → [項目追加] → 追加する項目にチェックを入れる →  (追加) と操作すると、項目を追加できます。

3 (登録) → [OK]



memo

- ◎登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
- ◎名前に半角英数字が含まれる場合、電話帳では名、姓の順に表示されることがあります。
- ◎相手の方から電話番号の通知がない場合は、「着信設定」で設定した着信音は鳴動しません。

◎電話帳に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で登録内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎特定の連絡先を普段は表示させないようにしたい場合は、「シークレット設定」をONに設定してください。シークレット設定をした連絡先を表示するには、「表示設定」から設定してください。

電話帳の一覧を利用する

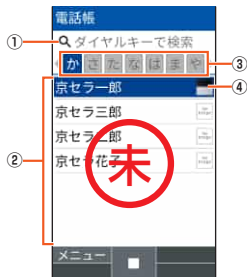
電話帳一覧画面を表示する

1 待受画面で☐

電話帳一覧画面(名前順)が表示されます。

- 電話帳一覧画面の表示方法が「グループ順」の場合は電話帳一覧画面(グループ順)が表示されます。グループを選択すると、選択したグループに登録されている電話帳一覧画面が表示されます。

電話帳一覧画面の見かた



《電話帳一覧画面(名前順)》

① ダイヤルキーで検索

電話帳一覧画面でダイヤルキーを押すと、検索文字を入力して連絡先を検索できます。**クリア**を押して検索文字を削除すると検索を解除します。

② 連絡先

選択したタブに登録されている連絡先が表示されます。

③ タブ

④ 画像

表示設定で「画像表示」を「表示する」に設定している場合、登録している画像があるときは、画像が表示されます。



memo

◎◀▶を押してタブを切り替えられます。

時短検索(電話帳検索)を利用する

待受画面でダイヤルキーを1秒以上長押しすると、該当するキーに対応する文字で始まる連絡先を検索結果に表示します。

例:「か」で始まる連絡先を検索する場合

1 待受画面で2を1秒以上長く押す

検索結果画面に「か」で始まる電話帳が表示されます。

電話帳の登録内容を利用する

1 待受画面で☐→連絡先を選択→■

電話帳簡易画面が表示されます。

2 ㊟(詳細)

電話帳詳細画面が表示されます。

■ 電話帳簡易画面／電話帳詳細画面の見かた



《電話帳簡易画面》

《電話帳詳細画面》

- ① 名前
- ② 登録内容
- ③ 画像
- ④ 通常使用の電話番号／通常使用のメールアドレス



- 登録内容を選択して■を押すと電話の発信、メールの作成などができます。
- 電話番号／メールアドレスを選択して■→[通常使用]と操作すると、通常使用の電話番号／メールアドレスに設定できます。
- ㊟(メニュー)→[編集]と操作すると、登録内容を編集できます。

よく通話する相手をペア機能に登録する

よく連絡する相手の方(最大3件)を電話帳から選択してペア相手に登録しておくと、簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 待受画面で

ペア登録確認画面が表示されます。

2 で登録先を選択→ (登録)

電話帳の一覧画面が表示されます。

3 電話帳からペア相手を選択→→[OK]

メールアドレスが登録された連絡先を選択した場合は、テストメールを送信するかどうかの確認画面が表示されます。[はい] / [いいえ] を選択したあと、画面に従って操作します。

memo

◎電話帳に複数の電話番号／メールアドレスが登録されている場合は、操作 **3** でを押した後、ペア機能で利用する電話番号／メールアドレスを選択する画面が表示されます。

◎シークレット設定をした連絡先は登録できません。
また登録済みのペア相手を編集してシークレット設定すると、ペア登録が解除されます。

ペア機能を利用する

登録したペア相手に電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 待受画面で→でペア相手を選択

2	電話をかける	電話をかけます。
	Eメールを送る	メールアドレスを宛先とした送信メール作成画面を表示します。
	+メッセージを送る	電話番号を宛先とした+メッセージ(SMS)作成画面を表示します。

memo

◎ペア画面で (メニュー)→[ペアを変更] / [ペアを解除] と操作すると、ペア相手の変更や解除ができます。

メールについて

本製品では、次のメールが利用できます。

■Eメール

auメールのアドレスを利用してメールの送受信ができるauのサービスです(▶P.99)。

■+メッセージ(SMS)

電話番号でメッセージのやりとりができるアプリです。auの電話番号宛だけでなく、国内他事業者にもメッセージを送信できます(▶P.107)。

■PCメール

普段パソコンなどで利用しているメールアカウントを本製品に設定し、パソコンと同じようにメールを送受信できます(▶P.111)。

Eメール

初期設定をする

Eメール(@au.com/@ezweb.ne.jp)のご利用には、LTE NETのお申し込みが必要です。

ご購入時にお申し込みにならなかった方は、au ショップ/au Styleもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

初期設定を行うと自動的にEメールアドレスが決まります。初期設定時に決まったEメールアドレスは変更できます。

1 待受画面で☑

2 内容を確認→[接続する]

3 内容を確認→[閉じる]



memo

◎Wi-Fi®のみで通信している場合、Eメールの初期設定はできずエラーメッセージが表示されます。
以下の操作からWi-Fi®をOFFに設定できます。
待受画面で[■]→[設定]→[よく利用する設定]→[Wi-Fi]→「Wi-Fi機能」のチェックを外す

Eメールを確認する

受信したEメールは、「受信ボックス」に保存されます。送信済みのEメールは「送信ボックス」に保存されます。受信したEメールや送信したEメールが振り分け条件に一致した場合は、設定したフォルダに保存されます。

送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは「未送信ボックス」に保存されます。

1 待受画面で☑

フォルダー一覧画面が表示されます。

2 [受信ボックス]／[送信ボックス]／[未送信ボックス]／フォルダを選択→■

Eメール一覧画面が表示されます。

- ☑(2行切替／3行切替):メール一覧の表示を切り替えます。

3 Eメールを選択→■

Eメール詳細表示画面が表示されます。

- ☑(前):前のEメールを表示
- ⌂(次):次のEメールを表示



- ◎「受信ボックス」の容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメール、本文を未受信のEメールは削除されません。
- ◎「受信ボックス」のすべてのメールが未読の状態で「受信ボックス」の容量を超えると、新着メールを受信できません。
- ◎「送信ボックス」／「未送信ボックス」の容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は、送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。ただし、保護されたメールは削除されません。

■ フォルダ一覧画面の見かた

フォルダ一覧画面には、「受信ボックス」や「送信ボックス」、フォルダなどが表示されます。フォルダは、「フォルダ作成」を選択してフォルダを作成すると表示されます。



① 新規作成

② 受信ボックス

③ インフォボックス

インフォボックスメールを表示できます。

④ 送信ボックス

⑤ 未送信ボックス

⑥ 作成したフォルダ

⑦ 未読・未送信メール件数

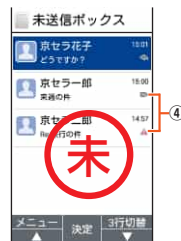
■ Eメール一覧画面の見かた



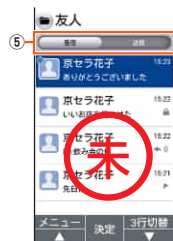
《受信メール一覧画面》



《送信メール一覧画面》



《未送信メール一覧画面》



《フォルダメール一覧画面》

- ① ●:未読のEメール
○:本文を未受信のEメール

② 件名

③ 宛先／差出人の名前またはメールアドレス

電話帳に登録があるメールアドレスの場合には、登録された画像／名前が表示されます。未登録のメールアドレスの場合にはEメールアドレスが表示されます。

受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。

- 電話帳にメールアドレスが登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。

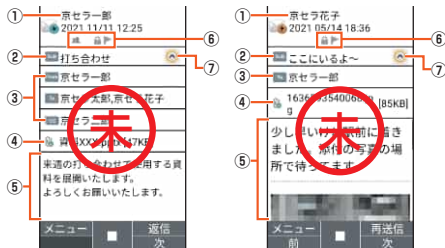
④ アイコン

- ←:返信したEメール
- :転送したEメール
- ↔:返信／転送したEメール
- 📎:添付データあり
- 🔒:保護されたEメール
- 🚩:フラグ設定Eメール
- 🚫:送信に失敗したEメール
- 🔄:自動再送信Eメール

⑤ 受信／送信切替スライダー

フォルダ内の受信メール一覧と、送信メール一覧を切り替えて表示できます。

■ Eメール詳細表示画面の見かた



《受信メール詳細表示画面》

《送信メール詳細表示画面》

① 宛先／差出人の名前またはメールアドレス

② Sub: 件名

③ From: 差出人の名前またはメールアドレス

To / CC / BCC: 宛先の名前またはメールアドレス

④ 添付ファイル

- 📎:保存された添付データ
- 📎:保存に失敗した添付データ
- 📎:保存されたインライン添付データ
- 📎:未受信の添付データ
- 📎:受信に失敗した添付データ

⑤ 本文

⑥ アイコン

- ✉: 返信したEメール
- ➡: 転送したEメール
- ✉: 返信／転送したEメール
- 👤: 複数の宛先あり
- 📧: BCCの宛先で受信したEメール
- 🔄: 自動再送信するEメール
- ⚠: 送信に失敗したEメール
- 🔒: 保護されたEメール
- 🚩: フラグ設定Eメール

⑦ ▼／▲: 詳細情報の表示／非表示

Eメールを送信する

1 待受画面で✉→[新規作成]

送信メール作成画面が表示されます。

2 アドレス入力欄を選択→■

3 アドレス帳引用	電話帳のメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス帳グループ引用	電話帳のグループに登録されたすべてのメールアドレスを宛先に入力します。 グループに登録されているメールアドレスが宛先の上限を超えている場合は、上限まで宛先に入力します。
メール受信履歴引用	受信メール履歴／送信メール履歴の一覧から選択して、メールアドレスを宛先に入力します。
メール送信履歴引用	
プロフィール引用	本製品に登録されている自分のEメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス直接入力	メールアドレスを直接入力します。
貼り付け	コピーしたメールアドレスを貼り付けます。

※ 表示される項目は、条件によって異なります。

4 件名入力欄を選択→ (編集)→件名を入力

5 本文入力欄を選択→→本文を入力

6 (送信)→[送信]



memo

- ◎送信メール作成画面で (保存)を押すと、作成中のEメールを「未送信ボックス」に保存できます。
- ◎デコレーションアニメには対応していません。
- ◎1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。
- ◎一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件(To/Cc/Bccを含む。1件につき半角64文字以内)までです。
- ◎絵文字を他社の携帯電話やパソコンなどに送信すると、他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、au電話に送信した場合でも、受信側のau電話に搭載されている異なるデザインの絵文字に変換されることがあります。
- ◎送信時確認表示は非表示にすることができます。
- ◎あらかじめ「自動再送信」をONにすると、Eメールの送信に失敗した際に自動で再送信することができます。

◎本文には、最大20件(合計100KB以下)のデコレーション絵文字を挿入できます。

※一度挿入したデコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。

宛先を追加・削除する

■宛先を追加する場合

1 送信メール作成画面→未入力アドレス入力欄を選択→

宛先の入力方法を選択するメニューが表示されます。「Eメールを送信する」(▶P.103)の操作 **3** をご参照ください。

■宛先を削除する場合

1 送信メール作成画面→削除する宛先を選択→→[削除]→[削除]



memo

- ◎「 To」を選択→と操作すると、宛先の種類(To/Cc/Bcc)を変更することができます。一番上の宛先の種類を変更することはできません。

Eメールを受信する

1 Eメールを受信

Eメールの受信が終了すると、次の方法で新着メールをお知らせします。

- ステータスバーに「」が表示され、Eメール受信音が鳴ります。
- ステータスバーにメールアドレス、名前、件名が表示されます。受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。メールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。
- 通知ランプが点滅します。
- 本製品を閉じているときはサブディスプレイに「」が表示されます。
また、メールアドレス(メールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前)が表示されます。

2 待受画面で→[受信ボックス]

Eメール一覧画面が表示されます。

3 受信したEメールを選択→

Eメール詳細画面が表示されます。



- ◎Eメールやその他の機能を操作中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーに「」が表示され、Eメール受信音が鳴ります。
ただし、「メール自動受信」をOFFに設定した場合は、バックグラウンド受信しません。
- ◎「メール自動受信」をOFFに設定している場合や、受信に失敗した場合は、Eメール受信音が鳴り「」が表示されます。「新着確認」を行い、Eメールを受信してください。
- ◎受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもデータ通信料がかかることがあります。
- ◎受信できる本文の最大データ量は、1件につき約1MBまでです。それを超える場合は、本文の最後に、以降の内容を受信できなかった旨のメッセージが表示されます。
- ◎受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

新着メールを問い合わせで受信する

「メール自動受信」をOFFに設定した場合や、Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせで受信することができます。

1 待受画面で

フォルダー一覧画面が表示されます。

2 (新着確認)

新着のEメールがあるかどうかを確認します。

Eメールアドレスを確認する

1 待受画面で→ (メニュー)→[Eメール設定]

2 [Eメール情報]

Eメールアドレスが表示されます。

※ 待受画面で→と操作しても、Eメールアドレスを確認できます。

Eメールアドレスを変更する

EメールアドレスはEメールアドレスの初期設定を行うと自動的に決まりますが、変更できます。

1 待受画面で→ (メニュー)→[Eメール設定]→[アドレス変更・その他の設定]→[接続する]→[メールアドレスの変更へ]

2 暗証番号を入力→ (完了)→[送信]

暗証番号はご契約時に設定された4桁の数字です。

3 内容を確認→[承諾する]

4 「ご希望のメールアドレスに変更する」にチェックを入れる→メールアドレスを入力→ (完了)→[送信]→[OK]→[閉じる]

+メッセージ(SMS)

これまでのSMS(Cメール)が、楽しく便利なメッセージアプリになりました。

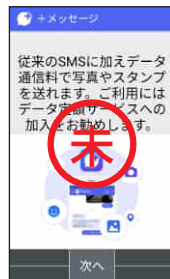
+メッセージ同士なら、au以外の携帯電話やスマートフォンをお使いの方へも、気にせずメッセージや写真、動画を送受信できます。

- ※ 本サービスのご利用には、別途LTE NETのお申し込みが必要です。
- ※ +メッセージ同士の送信・受信時にはデータ通信料が発生します。データ定額サービスへのご加入をおすすめします。
- ※ 「+メッセージ」アプリをご利用されていない方への送信はSMSとなります。SMSを送信する場合はSMS送信料がかかります。
- ※ 初期設定時の利用規約画面で「SMS利用」を選択すると、従来のSMS(Cメール)のみ利用できるアプリとなります。

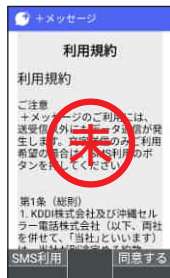
初期設定をする

1 待受画面で☑を1秒以上長く押す

2 ■(次へ)



3 利用規約を読み☑(同意する)→画面に従ってチュートリアルを確認



+メッセージの設定が完了します。



memo

◎手順3で☑(SMS利用)→[OK]と操作すると、従来のSMS(Cメール)のみ利用できます。

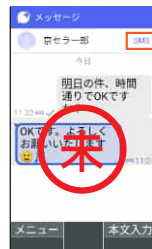
+メッセージのモードについて

+メッセージでは、相手が+メッセージを利用している場合は、スタンプや写真や動画等のコンテンツを送ることができます。

相手が+メッセージを利用していない場合は、SMSとしてテキスト文のみを送ることができます。



《+メッセージ画面》
スタンプや写真などを
送受信可能です



《SMS画面》
「SMS」と
表示されます

+メッセージのご利用方法を確認する

1 待受画面で☑を1秒以上長く押す

メッセージ一覧画面が表示されます。

- 待受画面で☑→☑(+メッセージ)と操作しても表示できます。
- 前回「+メッセージ」アプリの操作を終了したときの状態によっては、メッセージ一覧画面が表示されていない場合があります。その場合は[クリア]を何度か押して、メッセージ一覧画面に戻ってください。

2 ㊚(マイページ)→[ヘルプ]

以下の内容をブラウザで確認できます。ご希望の操作説明をご確認ください。

- よくあるご質問
- 使い方ガイド



◎上記をご利用の場合、インターネットに接続します。ご契約の料金プランがデータ定額プランでない場合は、パソコン等からご確認ください。

連絡先を登録する

QRコードによる連絡先登録

+メッセージ(SMS)利用者同士であれば、+メッセージ(SMS)専用QRコードを読み込むことで、連絡先として登録できます。

1 待受画面で☑を1秒以上長く押す

待受画面で☑→☑(+メッセージ)と操作しても表示できます。

2 ㊚(マイページ)→[QRコード]→☑で「読取」を選択→QRコードを読み取り→☑(登録)→[OK]

新しい連絡先として登録されます。



◎専用のQRコードを表示するには、+メッセージ(SMS)で㊚(マイページ)→[QRコード]と操作します。

新しい連絡先を登録

1 待受画面で☑を1秒以上長く押す

待受画面で☑→☑(+メッセージ)と操作しても表示できます。

2 登録する連絡先からのメッセージを選択→☐(メニュー)→[電話帳に登録する]

電話帳の登録画面へと遷移するので、新しい連絡先を登録します。

メッセージを送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字のメッセージ(メール本文)に加え、スタンプ・写真・動画等のコンテンツを送信できます。

1 待受画面で☑を1秒以上長く押す

待受画面で☑→☑(+メッセージ)と操作しても表示できます。

2 ☐(新規作成)→[個人に送る]

同じ相手にメッセージを送信するときは、メッセージ一覧で相手を選択→■と操作してもメッセージを作成できます。

3 宛先の選択画面で相手先を選択→■

- ・「名前や電話番号を入力」欄に、名前を入力すると電話帳に登録されている相手先を検索できます。
- ・「名前や電話番号を入力」欄に、相手先電話番号を直接入力することもできます。
- ・SMSを海外へ送信する場合は、相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力します。

010 + 国番号 + 相手先電話番号

※ 相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。

4 ☐(本文入力)→本文を入力→■(完了)

本文は、相手先が+メッセージを利用している場合、2,730文字相当まで入力できます。
SMSモード利用の場合、全角最大670/半角最大1,530文字まで入力できます。

5 ☐(送信)

メッセージが送信されます。
送信したメッセージを選択→☐(メニュー)→[メッセージ操作メニュー]と操作すると、コピー/転送/削除ができます。

受信したメッセージを確認する

- 1 待受画面で☑を1秒以上長く押す**
待受画面で☑→☑(+メッセージ)と操作しても表示できます。
- 2 相手を選択→■**
- 3 受信したメッセージを表示**

PCメール

普段パソコンやスマートフォンなどで利用しているメールアカウントを本製品に設定し、パソコンやスマートフォンと同じようにメールを送受信できます。

- PCメールをご利用になるには、あらかじめPCメールのアカウントを設定する必要があります。
- PCメールの受信は「同期頻度」の設定に従って行われます。リアルタイム受信はできません。

PCメールのアカウントを設定する

メールアカウントを設定していない場合は、利用するメールアカウントを設定します。設定が完了すると、PCメールを利用することができます。

- 設定を手動で入力する必要がある場合は、PCメールサービスプロバイダまたはシステム管理者に問い合わせてください。

- 1 待受画面で■→[電話 メール]→[PCメール]**
- 2 画面に従って操作**

メールを送信する

- 1 待受画面で■→[電話 メール]→[PC メール]
- 2  (新規)
- 3 宛先入力欄を選択→■→■→宛先を入力→ (確定)
- 4 件名入力欄を選択→■ (編集)→件名を入力→■ (完了)
- 5 本文入力欄を選択→■ (編集)→本文を入力→■ (完了)
- 6  (送信)

メールを受信する

- 1 待受画面で■→[電話 メール]→[PC メール]
受信トレイ画面が表示されます。
- 2  (メニュー)→[更新]

PCメールを返信／転送する

- 1 受信トレイ画面→メールを選択→■
- 返信する場合
- 2  (返信)
 - 3 画面に従って操作
- 全員に返信する場合
- 2  (メニュー)→[全員に返信]
 - 3 画面に従って操作
- 転送する場合
- 2  (メニュー)→[転送]
 - 3 画面に従って操作

インターネット接続

インターネットに接続する

データ通信または無線LAN(Wi-Fi®)機能を使用してインターネットに接続できます。



memo

- ◎LTE NETまたはLTE NET for DATAに加入していない場合は、データ通信を利用することができません。
- ◎EZwebサイトはご利用いただけません。従来の3Gケータイでご利用いただいたコンテンツは継続してご利用いただけません。また、お客さまご自身の退会手続きが必要です。

データ通信を利用する

本製品は、「LTE NET」や「LTE NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してデータ通信を行うことができます。本製品にはあらかじめLTE NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリを起動すると自動的に接続されます。

LTE NET for DATAでインターネットへ接続するには、待受画面で■→[設定]→[無線・ネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]→[LTE NET for DATA]と操作してください。



memo

- ◎LTE NET、LTE NET for DATA、データ通信料定額／割引サービスについての最新情報はauのホームページをご参照ください。

■ データ通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリを使用するなど、データ量の多い通信を行うとデータ通信料が高額となるため、データ通信料定額／割引サービスの加入をおすすめします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ ご利用データ通信料のご確認方法について

ご利用データ通信料は、次のURLでご照会いただけます。

<https://www.au.com/support/>

ブラウザ

Webページを表示する

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。

- ブラウザは、ポインター対応アプリです。
- Webページによっては、本製品の画面に最適化されずに表示する場合があります。

1 待受画面で🌐

ブラウザメニュー画面が表示されます。

2	ホームページ	インターネットに接続してWebページを閲覧できます。
	お気に入り	登録したお気に入りの利用・管理をします。
	Web検索・URL入力	URLを直接入力してサイトを表示できます。また、キーワードを入力して、Webページの情報を検索できます。
	履歴	閲覧履歴を表示します。
	ダウンロード	ブラウザでダウンロードした画像などの履歴を確認できます。

My au	My auのホームページを表示します。
本製品の使い方ガイド	本製品の詳しい使い方を画像で確認できます。
設定	ブラウザの設定を変更します。

ポインターで操作する

ポインターの機能を利用して、ブラウザを快適に閲覧できます。ポインターについて詳しくは、「ポインターを利用する」(▶P.65)をご参照ください。

1 Webページで **F3** を1秒以上長く押す

ポインターがONになります。

もう一度 **F3** を1秒以上長く押すと、ポインターがOFFになります。

2 ポインターを使って操作する

カメラ

- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、鮮明なフォト／ムービーを撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪、ストラップなどがつかないようにご注意ください。ストラップが撮影の邪魔になる場合は、ストラップを手で固定してから撮影してください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本製品が動かないようにしっかりと持って撮影してください。
特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- 被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、画像がブレる原因となります。

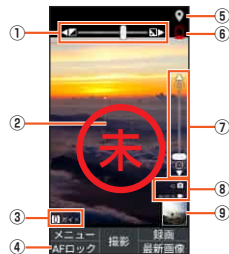
- ムービーを録画する場合は、マイクを指などで覆わないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
 - 無地の壁などコントラストが少ない被写体
 - 強い逆光のもとにある被写体
 - 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
 - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
 - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
 - 暗い場所にある被写体
 - 動きが速い被写体
- マナーモード設定中でもフォト撮影のフォーカスロック音やシャッター音、ムービー撮影の開始音、終了音は鳴ります。音量は変更できません。

- 本製品を利用して撮影または録音したものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法をお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などをすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお実演や興行、展示物などの中には、私的使用目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
- お客さまが本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- 位置情報が付加されたフォトをインターネット上にアップロードする場合、第三者に位置情報を知られる可能性がありますので、ご注意ください。

撮影画面の見かた

1 待受画面で📷

- 待受画面で📷→[カメラ]と操作してもカメラを起動できます。
- microSDメモリーカードが取り付けられているときは、確認画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。



① EV補正

☑️を押すと補正バーが表示され、露出の明るさを調整できます。

② フォーカス枠

③ 〇

キー操作のガイドを表示します。

④ AFロック

ピントを合わせた状態で固定することができます。

⑤ 位置測位中／位置情報付加

(位置測位中) (測位成功) (測位失敗)

⑥ 電池レベル状態

電池残量が少なくなったときに表示されます。

⑦ ズーム

を押すとズームバーが表示され、ズームを調整できます。

⑧ 撮影可能残り枚数／録画時間

保存先のストレージ容量が少なくなったときに表示されます。

⑨ 直前に撮影／録画したデータ

直前に撮影／録画したデータのサムネイルを表示します。

(最新画像) を押すとデータが表示されます。

■ フォトを撮影／ムービーを録画する

- データの保存先を切り替えるには、 (メニュー) → [保存先] → [本体]／[SDカード] と操作してください。

1 待受画面で

モニター画面が表示されます。

■ フォトを撮影する場合

2 (撮影) または マナー/シャッター

ピントが合い、撮影されます。撮影したデータは自動的に保存されます。

- ・「撮影画像の表示」がONの場合、撮影した画像が表示されます。 (削除) → [はい] と操作すると、撮影した画像を削除できます。

■ ムービーを録画する場合

2 (録画)

録画が開始されます。

3 (停止)

録画が停止します。録画したデータは自動的に保存されます。



memo

- ◎録画中に本製品を閉じると、録画が終了します。
- ◎常時、オートフォーカスが動作し、自動でピントを合わせるコンティニュアスAF機能を搭載しておりますが、被写体によっては、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
- ◎常時、撮影シーンや被写体に合わせて自動で画質調整が行われます。
- ◎録画中は送話口(マイク)でのみ、録音できます。

アラーム

指定した時刻をアラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 待受画面で[■]→[ツール]→[アラーム]

アラーム一覧画面が表示されます。

2 [☰] (メニュー) → [新規作成]

アラームを選択→[☰] (編集) と操作すると、アラームを編集できます。

3 各項目を設定する

アラーム時刻	アラームの鳴動する時刻を設定します。
繰り返し設定	繰り返しアラームが鳴動するように設定します。
アラーム名	アラームの名前を変更します。
アラーム音	アラーム音を変更します。
アラームの音量	アラームの音量を設定します。
天気予報アラーム	▶P.120「天気予報アラームを利用する」
スヌーズ設定	スヌーズを利用するかどうかやスヌーズの間隔を設定します。

バイブパターン	バイブレータの動作パターンを設定します。
鳴動時間	アラームの鳴動時間を設定します。

4 [📷] (登録) → [OK]



memo

◎アラーム一覧画面で[■]を押すたびに選択したアラームのON/OFFが切り替わります。

アラームを設定した時刻になると

◎画面表示やアラーム音、バイブレータ、通知ランプでお知らせします。

- アラームを停止するにはいずれかのキーを押します。
- アラームを停止しても通知画面は表示されています。[■]を押すとホーム画面に戻ります。

◎スヌーズを解除するときは[クリア]を1秒以上長押しします。

アラーム一覧画面のメニューを利用する

1 アラーム一覧画面で☐(メニュー)

2 新規作成	▶P.119「アラーム」
削除	アラームを1件または、選択削除します。
設定	アラームの音量 アラームの音量を設定します。 アラーム優先 マナーモード中にアラームを鳴動させるかどうかを設定します。

天気予報アラームを利用する

アラームの鳴動時に、今の天気と1日の天気予報を読み上げます。また、降水確率が高い場合にアラームを予定時刻より早く鳴らすこともできます。

1 アラーム編集画面で[天気予報アラーム]

- 初回起動時は天気アプリの設定画面が表示されます。天気アプリで都市を設定していない場合は、次の操作で設定してください。
天気アプリ画面で☐(メニュー)→[都市リスト]→☑(更新)

2 天気予報読み上げ	アラーム鳴動時に天気予報を読み上げるように設定します。
早起き機能	降水確率が高い場合に、アラームを早く鳴らす時間を設定します。



memo

- ◎アラーム音と天気予報の読み上げは同時に鳴動し、その間はアラームの音量が小さくなります。
- ◎天気予報読み上げがONの場合、鳴動しているアラームを停止すると天気アプリが起動されます。

ラジオ

FMラジオを利用する

本製品に別売りのイヤホンや変換アダプタなどを接続すると、アナログFMラジオを利用することができます。ワイドFMに対応しており、AMラジオ番組も聴くことができます。

- 本製品でUSB Type-Cのイヤホン／イヤホン変換アダプタの接続はアナログ方式のみ対応しております。
- イヤホンを接続すると、音声がイヤホン出力になります。

1 本製品に別売りのイヤホン、変換アダプタなどを接続

別売りのイヤホン、変換アダプタが無い場合は、「別売りのイヤホン、変換アダプタが無い場合」(▶P.121)をご参照ください。

■別売りのイヤホン、変換アダプタが無い場合

図のように本体を持つことで、ラジオを聴くことができます。ただし、受信環境によりノイズが入る場合があります。



2 待受画面で[■]→[ツール]→[FMラジオ]→[OK]

3 地方を選択→[■]

4 都道府県を選択→[■]

■FMラジオ画面での操作

[■]: イヤホン接続時のスピーカーON/OFFの切り替え
切り替えに対応しているイヤホン/イヤホン変換アダプタを接続している場合のみ切り替えができます。

[↑↓]: 音量調節

[←→]: 周波数の切り替え(短押しでチューニング、長押しで自動チューニング)

[クリア]: FMラジオの終了

[□] (メニュー): 周波数の入力、お気に入りへの登録、オフタイマーの設定、エリア変更

[◎] (登録一覧): 登録した周波数の表示

[◀]: バックグラウンド再生に切り替え

memo

- ◎地方や都道府県の選択は初回起動時のみ必要です。
- ◎データ通信は行わないため、通信費はかかりません。
- ◎別売りのイヤホン、変換アダプタがアンテナとなります。
- ◎屋内や乗り物の中では電波を受信しにくいことがあります。できるだけ窓際で使った方が受信しやすくなります。
- ◎バックグラウンド再生時にFMラジオを再び起動するには、**[F2]**を1秒以上長く押す→FMラジオの通知を選択→**[■]**と操作してください。FMラジオを終了するには、**[クリア]**→**[はい]**と操作してください。

漢字チェック

画数の多い漢字などを画面に大きく表示して確認することができます。1回に100文字まで確認できます。

1 待受画面で[■]**→**[ツール]**→**[漢字チェック]****

2 チェックしたい漢字を入力→[■]**(完了)→**[□]**で文字を選択**

漢字チェック画面に入力した文字が1文字ずつ表示されます。

memo

- ◎漢字チェック画面で**[■]**(編集)を押すと、入力した文字を編集できます。

スクリーンショット

1 **[マナー/シャッター]と**[F1]**を同時に1秒以上長く押す**

表示している画面のスクリーンショット(画面メモ)を撮影します。

- ・撮影したスクリーンショットはデータフォルダの「画像」から確認できます。

memo

- ◎アプリや機能によってはスクリーンショットが動作しない場合があります。

バッテリーケアモード

満充電しないことで、電池の寿命を延ばすことができます。

1 待受画面で[■]**→**[設定]**→**[電池]**→**[バッテリーケアモード]**→**[ON]****

バッテリーケアモードが設定されると、ステータスバーの電池アイコンにハートマーク**[♥]**が表示されます。



memo

- ◎バッテリーケアモードをONにすると、充電が85%で止まります。1回の充電での使用時間は短くなります。
- ◎充電が85%に達すると、充電ランプが消灯します。
- ◎86%以上の状態でバッテリーケアモードをONにした場合、85%に減るまで充電されません。

データ移行

これまでお使いのau電話から、microSDメモリカードやauサーバーを使って本製品にデータを戻す・預けることができます。

microSDメモリカードを利用する

あらかじめこれまでお使いのau電話でデータをmicroSDメモリカードに保存してください。

- ①これまでお使いのmicroSDメモリカードを本製品へ装着してください。
- ②データフォルダのデータ一覧画面からデータを移行することができます。

例: microSDメモリカード内の電話帳データを本製品に移行する場合

待受画面で[■]→[データフォルダ]→[電話帳・予定]→電話帳データを選択→[■]→[⌂(登録)]→登録するデータを選択→[■]→[⌂(確定)]→[はい]→[OK]

「データお預かり」アプリを利用する

auサーバーを利用してデータを戻す場合は、あらかじめこれまでお使いのau電話でデータをauサーバーに預けてください。auサーバーを利用する場合は、au IDの設定が必要です。

microSDメモリカードを利用してデータを戻す場合は、あらかじめこれまでお使いのau電話でデータをmicroSDメモリカードに保存してください。

1 待受画面で[■]→[安心 安全]

2 [データお預かり]

3 [データを保存／戻す]

以降は必要に応じて[SDカードを使う][auサーバーを使う]を選択し画面の案内に沿ってデータのバックアップや復元を行ってください。

Bluetooth®機能を利用する

Bluetooth®機能を利用してデータを移行することができます。

例：電話帳データを本製品に移行する場合

- ①待受画面で■→[設定]→[よく利用する設定]
→[Bluetooth]→[Bluetooth設定]にチェックを入れる→[新しい機器とペア設定する]
→Bluetooth®機器を選択→画面に従って操作し、Bluetooth®機器を認証
• Bluetooth®機器とペアリングされ、電話帳データを受信します。
- ②ファイル受信後→⌂(メニュー)→[受信ファイル]→電話帳データを選択→■→⌂(登録)→登録するデータを選択→■→⌂(確定)→[はい]→[OK]



memo

◎本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。

「データスイッチ」アプリを利用する

データスイッチは、古い端末から新しい端末へ電話帳などのデータを移行できるアプリです。データスイッチアプリ同士でデータの送受信ができます。送受信は、Wi-Fi Direct®で接続します。

- 1 待受画面で■→[ツール]→[データスイッチ]
- 2 [データを送信する]／[データを受信する]
画面の指示に従って操作してください。

端末設定

設定メニューを表示する

設定メニューから各種機能を設定、管理します。

1 待受画面で■→[設定]

項目	概要
よく利用する設定	Wi-Fi®、Bluetooth®、着信音、壁紙、フォントサイズの切り替えなどを行います。
au ID設定	au IDを設定します。
壁紙・ディスプレイ	ディスプレイの明るさの設定、サブディスプレイの設定などを行います。
サウンド・通知	マナーモードの設定や着信時の音量、LEDおよびバイブレータのパターンなどを変更できます。
ロック・セキュリティ	端末のロックやセキュリティの設定をします。
無線・ネットワーク	Wi-Fi®、Bluetooth®、機内モード、モバイルネットワーク、テザリングおよびVPNなどネットワークについて設定します。
電池	電池利用状況の確認、バッテリーケアモードなどの設定ができます。

項目	概要
カスタマイズキー	カスタマイズキー、フェイク着信の設定ができます。
その他の設定	USB、ポインター、ストレージ、アプリ、位置情報、アカウント、言語と入力、日付と時刻、ユーザー補助、リセットオプション、および端末情報などを設定します。

無線LAN(Wi-Fi®)機能

無線LAN(Wi-Fi®)機能について

家庭内で構築した無線LAN(Wi-Fi®)環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。



memo

- ◎ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線と無線LAN(Wi-Fi®)親機(Wi-Fi®ネットワーク)をご用意ください。
- ◎外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のWi-Fi®ネットワーク状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
- ◎すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
- ◎無線LAN(Wi-Fi®)機能は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客さまの判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する

無線LAN(Wi-Fi®)機能をONにする

- 1 待受画面で $\blacksquare \rightarrow$ [設定] $\rightarrow$ [よく利用する設定] $\rightarrow$ [Wi-Fi]

Wi-Fi®設定画面が表示されます。

- 2 「Wi-Fi機能」にチェックを入れる

Wi-Fi®がONに切り替わります。

Wi-Fi®ネットワークに接続する

- 1 待受画面で $\blacksquare \rightarrow$ [設定] $\rightarrow$ [よく利用する設定] $\rightarrow$ [Wi-Fi]

Wi-Fi®が起動している場合、Wi-Fi®設定画面に接続可能なアクセスポイントが表示されます。

- 2 アクセスポイントを選択 $\rightarrow$ $\blacksquare$

- 3 パスワードを入力 $\rightarrow$ 🔑 (接続)

「パスワードを表示する」をONにすると、入力中のパスワードを表示できます。



- ◎アクセスポイントによっては、パスワードの入力が不要な場合もあります。
- ◎お使いの環境によっては、通信速度が低下する場合やご利用にならない場合があります。

アクセスポイントとの接続を切る

- 1 待受画面で $\blacksquare \rightarrow$ [設定] $\rightarrow$ [よく利用する設定] $\rightarrow$ [Wi-Fi]

- 2 接続中のアクセスポイントを選択 $\rightarrow$ $\blacksquare \rightarrow$ 🗑 (削除)



- ◎アクセスポイントとの接続を切ると、再接続のときにパスワードの入が必要になる場合があります。

付録

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手できます。

■ ご利用上の注意

- モバイルデータ通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、ご利用の回線のご契約内容に応じたデータ通信料が発生します。
特にOSアップデートの場合、大容量のデータ通信が発生します。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客さまにご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップ／au Styleもしくはお客さまセンター（157／通話料無料）までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客さまに、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。

- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップ／au Styleもしくはトヨタ au取扱店（一部ショップを除く）にお持ちください。
- 海外利用中は、ソフトウェア更新の機能を利用できない場合があります。
- ソフトウェアの更新中は操作できません。110（警察）、119（消防機関）、118（海上保安本部）、157（お客さまセンター）へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新ができません。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

本製品は、ソフトウェア更新に対応しています。

1 待受画面で[□]→[設定]→[その他の設定]→[端末情報]→[ソフトウェア更新]

2 [ソフトウェア更新]または[更新確認]
以降は、画面の指示に従って操作してください。



memo

◎ ソフトウェア更新後に元のバージョンに戻すことはできません。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。
または、以下のauホームページの「トラブル診断」で症状をご確認ください。

<https://www.au.com/trouble-check/>

こんなときは	ご確認ください	参照
操作できない／画面が動かない／電源が切れない	 と  を同時に11秒以上長押しすると強制的に電源を切り再起動することができます。	P.62
電源が勝手に切れる	電池パックは十分に充電されていますか？	P.58
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	電池パックは十分に充電されていますか？	P.58

こんなときは	ご確認ください	参照
電話がかけられない	電源は入っていますか？	P.61
	正しいSIMカードが挿入されていますか？ • SIMカードは、SIMカードスロットにカチッと音がするまで押して正しく取り付けてください。	P.50
	電話番号が間違っていないか？ (市外局番から入力していますか？)	P.86
	電話番号入力後、  を押していますか？	P.86
	「機内モード」が設定されていますか？	P.72

こんなときは	ご確認ください	参照
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか？	P.69
	サービスエリア外にいませんか？	P.69
	電源は入っていますか？	P.61
	正しいSIMカードが挿入されていますか？ • SIMカードは、SIMカードスロットにカチッと音がするまで押して正しく取り付けてください。	P.50
	「着信拒否」が設定されていませんか？	—
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.72
	「着信転送サービス」が設定されていませんか？	—
「  」(圏外)が表示される	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.69
	内蔵アンテナ付近を指などで覆っていませんか？	P.46
	正しいSIMカードが挿入されていますか？ • SIMカードは、SIMカードスロットにカチッと音がするまで押して正しく取り付けてください。	P.50

こんなときは	ご確認ください	参照
キーの操作ができない	電源は入っていますか？	P.61
	ロックが設定されていませんか？	—
	電源を切り、もう一度電源を入れてください。	P.61
ポインターが意図した通りに動作しない	ポインターの正しい操作方法をご確認ください。	P.65
	電源を切り、もう一度電源を入れてください。	P.61
ブラウザ画面でポップアップの操作ができない	ポップアップなどが表示された場合は、ポインターで操作してください。	P.65
充電してくださいなど表示された	電池残量がほとんどありません。	P.58
電話が勝手に応答する	「伝言メモ」が設定されていませんか？	P.94

こんなときは	ご確認ください	参照
電池パックを利用できる時間が短い	十分に充電されていますか？ ・赤色の充電ランプが消灯するまで、充電してください。	P.58
	バッテリーケアモードが設定されていませんか？	P.122
	電池パックが寿命となっていないですか？	P.28
	「  」(圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.69
電話をかけたときに受話口から「プーッ、プーッ、プーッ…」と音がしてつながらない	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.69
	回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直してください。	—
カメラが動作しない	電池残量が少なくなっていますか？	P.58
	本体または電池温度が高温または低温になっていませんか？温度によって機能を停止する場合があります。	P.25

位置検索サポート

位置検索サポートをご利用になると、au電話の置き忘れや紛失時に、お客さまセンターがお客さまに代わってau電話のおおよその位置を検索したり、画面のロックをかけたりすることができます。

※ 位置検索のご利用にあたってはauスマートサポートまたはauスマートパス、auスマートパスプレミアム、故障紛失サポート、使い方サポート、安心サポートパック等のいずれかへの加入が必要です。遠隔ロックは無料でご利用いただけます。

■ お客さまセンターに電話して位置検索・遠隔ロックをかける

一般電話からは **☎ 0077-7-113**(通話料無料)
au電話からは **局番なしの113**(通話料無料)
受付時間 **24時間(年中無休)**
・音声ガイダンスに従ってお手続きをしてください。

■ 位置検索の設定を切り替える

本製品は、あらかじめ位置が検索できるように位置検索サポートが設定されています。

次の操作から位置検索を行わないように設定を変更することができます。

1 待受画面で→[アプリ サービス]→[auセルフケア]→「位置検索サポートを設定」のチェックを外す



- ◎ 詳しくは、『取扱説明書 詳細版』をご参照ください。『取扱説明書 詳細版』はauホームページからダウンロードできます。

アフターサービス

■ 修理を依頼されるときは

修理については故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客さまのご要望により、有償修理いたします。

※ 保証期間は、本製品をお客さまが新規ご購入された日より1年間です。



- ◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

- ◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いの端末は、再生修理した上で交換用端末として再利用します。また、アフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客さまへ返却することはできません。
- ◎ 本製品を加工、改造、解析(ソフトウェアの改造、解析(ルート化などを含む)、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む)されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
- ◎ 電池パックは消耗品のため、補償対象外となります。

■ 補修用性能部品について

当社は本製品本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 無償修理規定

1. 修理受付時は、製造番号(IMEI番号)の情報をお知らせください。製造番号(IMEI番号)は、本製品本体もしくは外装箱に貼付のシールなどで確認することができます。
2. 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で機器が故障した場合には、無償修理をさせていただきます。

3. 保証期間内でも、以下の場合には有償修理となります。(または、修理ができない場合があります。)
- ① 取扱説明書に従った正しい使用がなされなかった場合。
 - ② 不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
 - ③ 当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理された場合。
 - ④ 使用上、取り扱い上の過失または事故による故障や損傷の場合。また、落下、水濡れ、湿気などの痕跡がある場合。
 - ⑤ 地震、風水害などの天災及び火災、塩害、異常電圧などによる故障や損傷。
4. 機器の損傷状況によっては、修理を承れない場合もあります。
5. 製品の機器が故障したことにより、発生した損害・損失については負担いたしません。
6. 本製品を指定外の機器と接続して使用した場合、万一発生した事故については、責任を負いかねます。
7. 出張による修理対応はお受けできません。
8. 本規定は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- ※ 本保証は、上記に明示した期間、条件のもとで、無償修理をお約束するものです。従って、本保証によって保証責任者及び、それ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

■ 故障紛失サポートについて

auの端末を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「故障紛失サポート」をご用意しています。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。月額利用料およびサービスの詳細については、auホームページをご確認ください。

<https://www.au.com/mobile/service/kosho-funshitsu/>



memo

- ◎ ご入会は、auの端末のご購入時のお申し込みに限ります。
- ◎ ご退会された場合は、次回のauの端末のご購入時まで再入会はできません。
- ◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるauの端末のみが本サービスの提供対象となります。
- ◎ auの端末を譲渡・承継された場合、故障紛失サポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
- ◎ 機種変更・端末増設などにより、新しいauの端末をご購入いただいた場合、以前にご利用のauの端末に対する故障紛失サポートは自動的に退会となります。
- ◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au ICカード(SIMカード)について

au ICカード(SIMカード)は、auからお客さまにお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップ／au Styleもしくはトヨタ au取扱店までお問い合わせください。

SIMロック解除

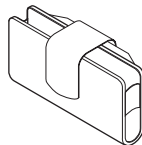
本製品にはSIMロックはされていません。他社のSIMカードをご使用になる場合、一部サービス・機能などが制限される場合があります。当社では一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

詳しくは、auホームページをご参照ください。

<https://www.au.com/support/service/mobile/procedure/simcard/>

周辺機器

- 電池パック(KYF44UAA)
- 背面カバー(ホワイト)(KYF42TWA)
背面カバー(ブラック)(KYF42TKA)
- 卓上ホルダ(KYF39PUA)(別売)
- 京セラ3.5φType-C変換ケーブル(0401QNA)(別売)
- auキャリングケースFブラック(0105FCA)(別売)
auキャリングケースGブラック(0106FCA)(別売)
auキャリングケースHブラック(0107FCA)(別売)



auキャリングケースGブラック

- TypeC共通ACアダプタ01(0601PQA)(別売)
TypeC共通ACアダプタ02(0602PQA)(別売)
- 共通ACアダプタ05(0501PWA)(別売)※1
- MicroB-TypeC変換アダプタ(0601PHA)(別売)

※1 ご利用にはMicroB-TypeC変換アダプタ(別売)が必要です。



memo

◎ 周辺機器は、auオンラインショップでご購入いただけます。商品によってはお取り扱いを終了している場合がございます。

<https://onlineshop.au.com>

イヤホンを使用する

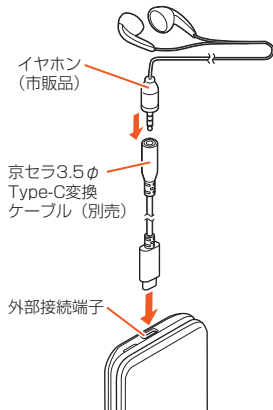
■ 京セラ3.5φ Type-C変換ケーブル (O401QNA) (別売)でイヤホン(市販品)を使用する

イヤホン(市販品)は京セラ3.5φ Type-C変換ケーブル(O401QNA) (別売)と接続して使用します。

1 京セラ3.5φ Type-C変換ケーブル (O401QNA) (別売)にイヤホン(市販品)を接続する

2 本製品に京セラ3.5φ Type-C変換ケーブル (O401QNA) (別売)を接続する

京セラ3.5φ Type-C変換ケーブル(O401QNA) (別売)のUSB Type-Cプラグを、外部接続端子にまっすぐ差し込みます。



memo

◎ イヤホン(市販品)によっては、京セラ3.5φ Type-C変換ケーブル(O401QNA) (別売)に接続できない場合があります。

主な仕様

未

■本体

ディスプレイ	約3.4インチ、約1,677万色、TFT透過型	
	854×480ドット(FWVGA)	
サブディスプレイ	約0.9インチ、1色、有機ELディスプレイ	
重量	約125g(電池パック含む)	
サイズ (幅×高さ×厚さ)	約51×112×17.9mm	
内蔵メモリ容量※1		ROM:約8GB RAM:約1GB
連続通話時間	国内	約600分
	海外(GSM)	約410分
連続待受時間	国内	約450時間
	海外(GSM)	約530時間
Wi-Fi®テザリング最大接続数	10台	

充電時間 (目安)	TypeC共通ACアダプタ01(別売)	約130分
	TypeC共通ACアダプタ02(別売)	約130分
	共通ACアダプタ05(別売)	約130分
カメラ有効画素数		約800万画素
カメラ撮影素子		CMOS
無線LAN(Wi-Fi®)機能		IEEE802.11b/g/n準拠
Bluetooth®機能	対応バージョン	Bluetooth®標準規格 Ver.5.2準拠※2
	出力	Class 1
	通信距離※3	10m
	対応プロファイル・機能※4	GATT(Generic Attribute Profile) SPP(Serial Port Profile) A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)

Bluetooth® 機能	対応プロ ファイル・ 機能※4	AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile) HSP(Headset Profile) HFP(Hands-Free Profile) OPP(Object Push Profile) PBAP(Phone Book Access Profile) PAN(Personal Area Networking Profile) PAN-NAP(Personal Area Networking- Network Access Point) PAN USER(Personal Area Networking-User)
	使用周波数 帯	2.4GHz帯

※1 データとアプリで保存領域を共有しているため、本体内の保存可能容量はアプリの使用容量により減少します。

※2 本製品およびすべてのBluetooth®機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth®標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができなかったりする場合があります。

※3 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。

※4 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。

■電池パック(KYF44UAA)

電池種類	リチウムイオン電池
定格	3.8V、1,500mAh
サイズ(幅×高さ×厚さ)	約36.0×57.1×5.5mm
質量	約26g



memo

◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種KYF44の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定められており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.657W/kg(※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は0.509W/kg(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。

キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用を原因とするいかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones>

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○ 総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

○ 一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>

○ auのホームページ

<https://www.au.com/mobile/product/sar-list/>

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules.

Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.

- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.



FCC RF EXPOSURE INFORMATION

Warning! Read this information before using your phone.

Warning! Read this information before using your phone. In August 1996, the Federal Communications Commission (FCC) of the United States, with its action in Report and Order FCC 96-326, adopted an updated safety standard for human to radio frequency electromagnetic energy emitted by FCC regulated transmitters. Those guidelines are consistent with the safety standard previously set by both U.S. and international standards bodies. The design of this phone complies with the FCC guidelines and these international standards.

Body-worn Operation

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept 0.39 inches (1.0 cm) from the body. To comply with FCC RF exposure requirements, a minimum separation distance of 0.39 inches (1.0 cm) must be maintained between the user's body and the back of the phone, including the antenna. All beltclips, holsters and similar accessories used by this device must not contain

any metallic components. Body-worn accessories that do not meet these requirements may not comply with FCC RF exposure limits and should be avoided. This device is not intended to be used with a lanyard or strap on the body. The device contains a mounting point that may be used to attach the device to equipment, a backpack or tool belt, etc.

Turn off your phone before flying

You should turn off your phone when boarding any aircraft. To prevent possible interference with aircraft systems, U.S. Federal Aviation Administration (FAA) regulations require you to have permission from a crew member to use your phone while the plane is on the ground. To prevent any risk of interference, FCC regulations prohibit using your phone while the plane is in the air.

■ FCC Certification Information

- The product is certified by Federal Communications Commission (FCC).

The product's FCC ID is JOYEB1135.

You can view this certification in the following way.

How to confirm:

From the standby screen, press  → [Settings] → [More settings] → [About phone] → [Compliance information]

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客さまの責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。



TRENDMICRO、およびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。

Microsoft®、Windows®およびWindows®8.1 / Windows®10は米国Microsoft Corporationの米国

およびその他の国における登録商標です。
Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。

Microsoft®, Microsoft® Excel®, Microsoft® PowerPoint®, Windows Media®, Exchange®は、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標または商標です。
Microsoft® Word、Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。
microSD、microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、京セラ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

Wi-Fi®, Wi-Fi CERTIFIED ロゴ、Wi-Fi Direct®は Wi-Fi Allianceの登録商標です。
Wi-Fi CERTIFIED™、WPA™、WPA2™、WPA3™は Wi-Fi Allianceの商標です。

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社の iWnnIMEを使用しています。
iWnn IME©OMRON SOFTWARE Co., Ltd.
2009-2022 All Rights Reserved.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL

USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com).

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO

LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://WWW.MPEGLA.COM).

- (1) ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
- (2) 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

本製品には、株式会社リムコーポレーションの書体を搭載しています。

静止画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「PhotoSolid」を採用しております。「PhotoSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。
動画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「MovieSolid」を採用しております。「MovieSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。
HDR(High Dynamic Range)技術には「Morpho HDR」を採用しています。「Morpho HDR」は株式会社モルフォの商標です。

ハローページはNTTの登録商標です。

「すぐ文字」は京セラ株式会社の登録商標です。

USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。

その他社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

この取扱説明書で説明されている本製品にインストールされているソフトウェアについては、お客さまに使用権が許諾されています。本ソフトウェアのご使用に際しては、以下の点に注意ください。

- (a) ソフトウェアのソースコードの全部または一部について、複製、頒布、改変、解析、リバースエンジニアリングまたは導出を行ってはなりません。
- (b) 法律や規則に違反して、ソフトウェアの全部または一部を輸出してはなりません。
- (c) ソフトウェアの商品性、特定目的への適合性、第三者知的財産権の非侵害などの黙示の保証を行うものではありません。

ただし、ソフトウェアに含まれている、GNU General Public License(GPL)、GNU Library/Lesser General Public License(LGPL)およびその他のオープンソースソフトウェアのライセンスに基づくソフトウェアならびに京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアのご使用に際しては、当該ソフトウェアのライセンス条件が優先して適用されます。

なお、オープンソースソフトウェアについては、以降に明示しております「オープンソースソフトウェアについて」をご確認ください。

■オープンソースソフトウェアについて

本製品は、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL)、その他のオープンソースソフトウェアのライセンス条件が適用されるソフトウェアを含みます。GPL、LGPLおよびその他のライセンスの具体的な条件については、本製品の「端末情報」からご参照いただけます。詳細については京セラ株式会社のホームページをご覧ください。

本製品には、京セラ株式会社が著作権を有するソフトウェアおよび京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアが含まれています。

本製品に含まれる、京セラ株式会社がオープンソースソフトウェアの規格やライセンスに準拠し設計、開発したソフトウェアの著作権は京セラ株式会社または第三者が有しており、著作権法上認められた使用法および京セラ株式会社が別途認めた使用法を除き、お客さまは京セラ株式会社に無断で頒布、複製、改変、公衆送信等の使用を行うことはできません。

■診断および使用状況データの記録

京セラ株式会社では、製品とサービスの品質の向上のために、お客さまのご協力をお願いしています。京セラ株式会社は、予期しないシャットダウンやシステムエラーなどの診断イベントを追跡して対処し、品質とサービス向上を目的として、お客さまの端末の故障診断および使用状況データ（お客さまによるアプリの使用状況情報、エラーに関するログ情報、およびお客さまによるアプリの使用に関する詳細情報（特定の機能、使用頻度、メモリ／電池の使用状況））を端末内に記録、保存しております。これらの情報はお客さまより端末の修理依頼があった際に、お客さまの同意の上収集することがあります。

License

【OpenSSL License】

Copyright © 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY

DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

[Original SSLeay License]

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合案内 (通話料無料)

受付時間 9:00~20:00 (年中無休)

au携帯電話からは

au携帯電話以外／一般電話からは

局番なしの157番

0077-7-111

上記の番号をご利用にならない場合、下記の番号にお電話ください。(無料)

0120-977-033

盗難・紛失・故障案内 (通話料無料)

受付時間 24時間 (年中無休)

au携帯電話からは

au携帯電話以外／一般電話からは

局番なしの113番

0077-7-113

上記の番号をご利用にならない場合、下記の番号にお電話ください。(無料)

0120-925-314

故障紛失サポートセンター

(故障紛失サポート会員向けサービス)

故障相談・交換用電話機お届けサービス受付

(通話料無料)

受付時間 9:00~20:00 (年中無休)

au携帯電話／au携帯電話以外／一般電話から

0120-925-919



濡れた状態での充電は、
異常な発熱・焼損などの原因となり
大変危険です。



衝撃や過度な外圧を加えると、電池
の破損・変形等により発煙・発火等
の原因となり大変危険です。



携帯電話・PHSのリサイクルにご協力。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を
再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる
電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず
 マークのあるお店で回収し、リサイクルを行って
います。

2022年6月第1版

発売元: KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)

製造元: 京セラ株式会社

5KKTEB1135XX-0622SZ



管理用コード